世界の国を知る 世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

活用マニュアル

ver.1

財団法人 愛知県国際交流協会

教材は、愛知県国際交流協会ウェブサイトから
ダウンロードできます。

http://www2.aia.pref.aichi.jp

Contents

第1章 『わたしたちの地球と未来』はこんな教材です

『わたしたちの地球と未来』がめざすこと……02

『わたしたちの地球と未来』とは……03

教材活用プロジェクトチームが考えたこと……04

第2章 教材を120%活用する方法

教材を活用するための3つのポイント……08

こんな場面で活用できます……09

第3章 たとえばこんなプログラムがつくれます！

世界を肯定的・多面的に学ぶ……12

世界の多様性を学ぶ……16

日本と世界のつながりを学ぶ……18

地球的課題について学ぶ ～人権～ ……20

地球的課題について学ぶ ～平和～ ……22

地球的課題について学ぶ ～環境～ ……24

地球的課題について学ぶ ～多文化共生～ ……26

第4章 こんな活用してみました！

子ども（親子）対象の国際理解講座 ～世界とのつながり～ ……30

子ども（親子）対象の国際理解講座 ～平和～ ……32

子ども（親子）対象の国際理解講座 ～環境～ ……34

一般対象の国際理解講座 ～人権～ ……36

一般対象の国際理解講座 ～多文化共生～ ……38

よりよいファシリテーターになるための10カ条……40

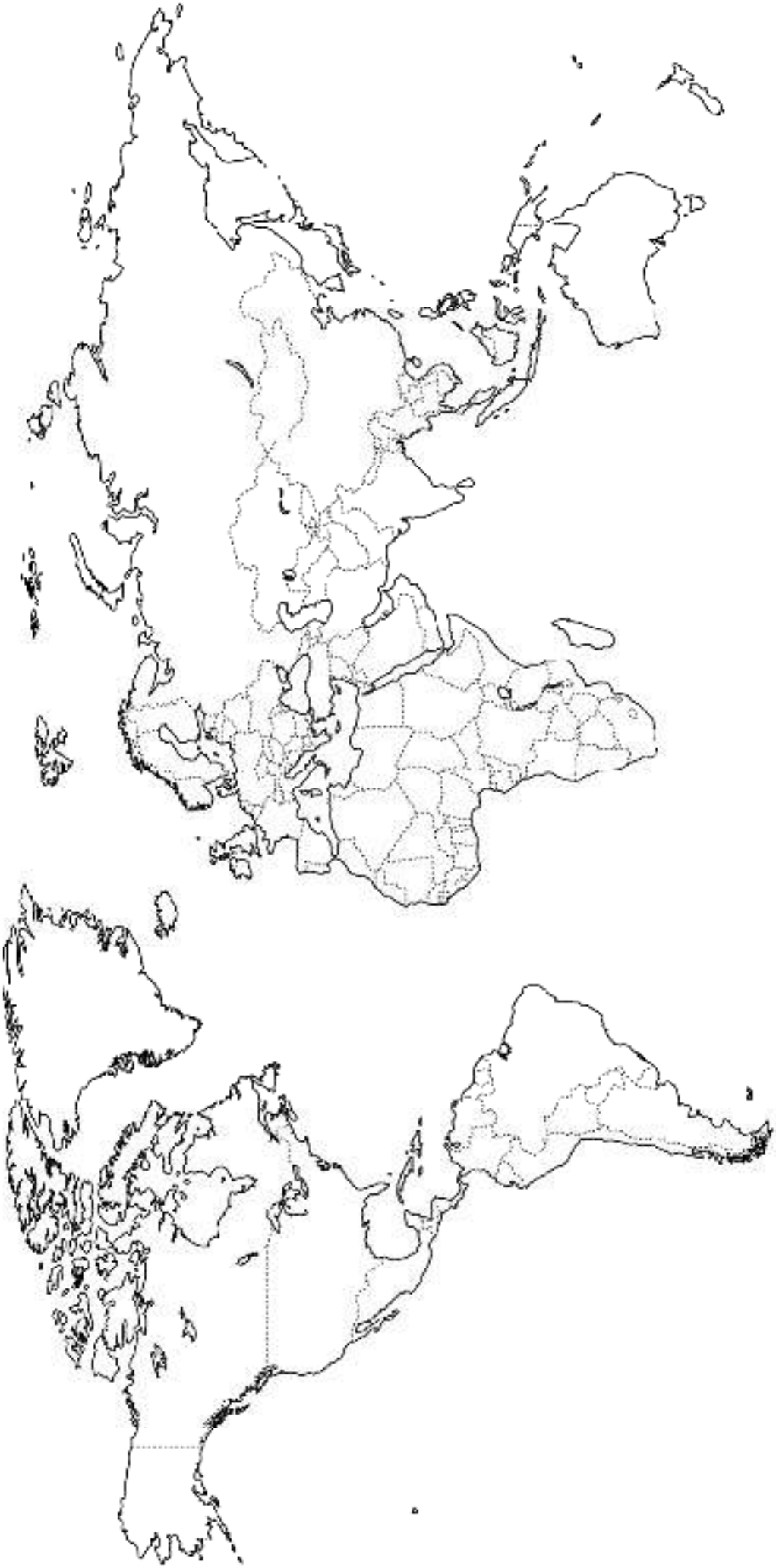
キーワード一覧……41

教材目次一覧……42

『わたしたちの地球と未来』マップ……48

教材作成予定……49

フレンドシップ教材活用プロジェクトチーム……50



第１章

『わたしたちの地球と未来』は
こんな教材です

『わたしたちの地球と未来』がめざすこと

ずばり、それは「**地域と地球に主体的に関わる人を増やすこと**」です。

なぜ、国際交流？

「なぜ、外国人と仲良くしなければいけないの?」
「今の時代『国際交流』なんて時代遅れじゃない?」
こんな言葉を時々耳にします。確かに、日本国内にも考えなければいけないこと、やらなければいけないことは満載で、日々の生活も大変で、ましてや周りに外国人がいなかったら、国際交流の大切さ、必要性はあまり感じられないかもしれません。

でも、本当に『国際交流』は必要ないのでしょうか?
時代遅れなのでしょうか?

『国際交流』を単に「外国のことを知る」「外国人と仲良くする」ととらえれば、必ずしもみんなが関わる必要はないかもしれません。でも、『国際交流』は単に知り合うだけではなく、お互いに学びあい、尊重しあい、対等な立場で地域や地球を創っていくことだと考えます。

教材を紹介するパネル
内容は各教材のP.1に掲載しています

たとえば最近日本にも外国籍住民が増え、「多文化共生社会の実現」が叫ばれていますが、単にしくみをつくり上げるだけで「だれもが住みやすい社会」を創ることはできません。自分自身と自分の周りにいるみんな、自分の地域に住んでいるみんな、自分と同じ時代に同じ地球に住んでいるみんな、そして未来に生きるみんな…。
考え方、価値観は違いますが、その違いを含めて、それぞれの存在を認め、お互いに大切に思う心があって初めて、平和で暮らしやすい社会を実現できるのだと思います。そして、それを学ぶ場が『国際交流』なのです。『国際交流』は、地域のこと・地球のことを学び、考え、主体的に関わっていくためのきっかけづくりの場なのです。

地域や地球を創るのはだれ？

5年先、10年先、50年先の地域や地球を創るのはだれでしょうか?
だれかが知らない間に、夢のような未来を創ってくれるわけではありません。今を生きる私たち一人ひとりが、未来を創るのです。教材『わたしたちの地球と未来』は知識を得ることを目的とはしていません。すべてのプログラムが「参加型」で学べる形態になっており、参加者が自分自身の課題として地域や地球の現状を学び、それにどう関わっていけるかを考えるとともに、自分自身の生活や自分が住む地域をふりかえられるようになっています。

また、いろいろな人が「ファシリテーター」(P. 3)としてプログラムを実践することができるような構成になっています。今回、このマニュアルをつくりあげた「教材活用プロジェクトメンバー」もその多くが学生。これまでファシリテーターの経験がほとんどなかったにも関わらず、多くのことを学び、考え、実践しました。

地域や地球のさまざまな課題を解決するための唯一正しい答えがあるわけではありません。
でも、地域や地球のことを主体的に考え、関わる人が増えていけば、きっと未来はステキになると思うのです。

『わたしたちの地球と未来』とは

内容と構成

2005年に開催された愛知万博の公式参加出展国120カ国をテーマにした「参加型」国際理解教育教材です。万博の時に展開された国際交流によるリソース、経験を万博だけで終わらせず、地域の財産として残していきたいという思いで作成しています。(P.48参照)

教材には、

- 国際交流の楽しさを伝える
- 相手国の人の顔が見え、つながりを感じる
- 多様なものと肯定的に出会い、国や人の多様性だけでなく、同一性も理解する
- よりよい未来のために、お互いの誇りや課題を知り、ともに学び、考え、気づき、築くきっかけをつくる
- 自分たちは「よりよい未来をともに創る担い手である」という意識を持つ

ことをねらいとしたプログラムを掲載しています。

また、各教材の構成は、

第1章 〇〇ってどんな国? 第2章 へぇ～、〇〇と日本 第3章 一緒に考えよう! こんな課題
第4章 そして未来へ (印刷年ごとに共通)

となっています。

用語の説明

◇国際理解教育

人権、環境、平和、共生など人類共通の課題を知り、課題を共に解決しながら、よりよい未来を築く力を育てる教育です。「力を育てる」教育なので、講義型ではなく、参加型で進めます。参加型で進めることによって、参加者同士がお互いの思い、考え、知恵を学びあい、自分自身の力を確認したり、学びなおしたり、新しい学びを得るプロセスをつくります。また、そのプロセスの中で、他者と関わる力も育みます。

◇ファシリテーター

参加型のプログラムを進めていく人です。ファシリテーターの役割は

- 目的を明確にしながら、ともに考え、学びあうためのプロセスをデザインする
  (事前のプログラム作り、当日の時間管理と流れづくり)
- 人々の参加と対話を引き出し、促進するために、対等性と安心感のある場を確保する
- 共有を進める=個人の知識の蓄積ではなく、学びの共有
- 相違点と共通点と合意点の共有
- アウトプットを目に見える形で整理し、残す

よりよいファシリテーターに大切なことはP.40

◇プログラムとアクティビティ

ある時間内で、ねらいを達成するために展開するストーリー全体を「プログラム」といいます。「プログラム」は、1つひとつの作業「アクティビティ」がつながってできています。「プログラム」は、参加者の意識に沿って流れがあり、ストーリー性のある理論の展開になっていることが大切です。意味もなく、相互のつながりのわからない「アクティビティ」の羅列になっていたり、単なるアクティビティのやりっぱなしにならないようにしなければいけません。

◇アイスブレーキング

参加型のプログラムを実施するとき、楽しい場を創ることが大切です。参加者の緊張を解きほぐし、安心して参加できる雰囲気をつくるためのアクティビティをアイスブレーキングといいます。起承転結に入る前に、テーマとは関係ないアイスブレーキングのアクティビティを行う場合もありますし、導入としてアイスブレーキングを行う場合もあります。

教材の使いかた

このマニュアルは、2008年、2009年に作成した教材を基に作成しています。それぞれの具体的な使い方については、各教材の巻頭に掲載しています。このマニュアルを参考にしながら、自由にアレンジして使っていただけばいいですが、著作権については出典元または(財)愛知県国際交流協会に帰属し、学校関係や国際交流団体等が教育の目的で非営利に使う場合に限り、活用していただけます。

教材活用プロジェクトチームが考えたこと

地球理解教育という架空の教育を設定し、自由な発想しあうことで、今現実にある国際理解教育の目的を再確認しました。

20XX年 惑星Qで「地球理解教育」が始まった！よりよい「地球理解教育」とは？

時は、20XX年。わがプロジェクトチームに、惑星Qから「地球」と「地球人」についての理解を深めることを目的とした「地球理解教育」プログラムを作成して欲しいという依頼がきました。惑星Qの子どもたちは、「地球」を見たこともないし、「地球人」に出会ったこともありません。さて、どんなことに気をつけてプログラムをつくりますか?
「よい地球理解教育」と「悪い地球理解教育」を対比させて考えてみましょう。

チーム名	よい地球理解教育	悪い地球理解教育
バーム クーヘン	◇宇宙観が広がる ◇地球を知ることで、自分の惑星を見直せる教育 ◇興味を持ってもらえ、地球に行きたくなる ◇身近に感じる話題 ◇共通点が見つけられる ◇楽しく深く考えられる	◇実際に地球に来た時、マイナスギャップが起きる ◇少数派を無視した内容 ◇先入観を植え付ける ◇すべてを伝えず、よい面しか見せない ◇自分の主観にとらわれた教育
ゾウさん	◇惑星結婚を目指すQ人と地球人が増加 ◇惑星との交流が深まる（惑星留学!?） ◇多面的に多角的に、でもメッセージ性がある ◇自分たちとの違いを知ってもらう ◇Q星についても伝えたい! と思えるもの →双方向 ◇Q星人すべてが対象（希望） ◇宇宙の中の地球、宇宙の中の惑星Q ◇レオナルド・ダ・ヴィンチの宇宙人あてのレター ◇地球行きたい! 地球行こうよツアーが広まるくらい	◇文字ばかり 限られた言語スタイルによるもの ◇ヒト中心 ◇伝える人の勝手な考えを伝える（差別等） ◇ステレオタイプを植えつける紹介の仕方 ◇先進国のことばかり紹介すること ◇地球人の考えを押しつける ◇一方通行 ◇互いに見下されたり、めちゃくちゃカリスマ扱いされる ◇いい面ばかりの教育
ジブリ	◇違いを怖がらない ◇学習者が答えを自分たちで考える ◇違いを知り、認め合う ◇楽しい、おもしろい ◇自分の星も客観的に見て伝えられる ◇いい面を取り入れるきっかけ ◇違う星を知り、自分の星を好きになる ◇多面的な見方ができるようになる	◇自分には関係ないと思ってしまう ◇批判・否定につながる ◇聞いて終わってしまう ◇考えをただ押しつける ◇相手を見下してしまう

教材はどんなところで活用できそう？

フレンドシップ国際理解教育教材『わたしたちの地球と未来』はどんなところで活用できるでしょうか?
思いつくことを何でも書き出してみましょう。

場所	対象	所要時間	内容・テーマ
◇学校 ◇企業 ◇海／島／川／山 （自然の中） ◇公民館 ◇児童館 ◇生涯学習センター ◇図書館 ◇市役所 ◇イベント会場 ◇地域の祭り／学園祭 ◇幼稚園／保育園 ◇老人ホーム ◇デイサービスセンター ◇リトルワールド ◇モリコロパーク ◇名古屋国際センター ◇JICA ◇クラブ ◇スーパー／デパート ◇空港	◇小学生／中学生／ 高校生／大学生 ◇高齢者 ◇公務員 ◇サラリーマン ◇保護者／PTA ◇日本語教室の外国人 ◇祭りに来ている客 ◇学校教員 ◇地域の一般市民 ◇親子／家族連れ ◇社長 ◇頭の固い人 ◇第一次産業従事者 ◇NPO／NGOスタッフ ◇消費者 ◇生産者 ◇おとうさん ◇ニート／フリーター	◇1年間 ◇30分 ◇1時間 ◇45～50分 ◇90分 （大学授業、 小学校2コマ） ◇15～30分 （イベントなど） ◇3ヶ月（週1回） ◇半年（月1回） ◇8か月 （8回 長すぎず短すぎず）	◇環境 ◇衣食住 ◇学校 （子どもの暮らし） ◇グローバルイシュー 全部 ◇対象が抱える／ 関心がある問題 ◇生活文化（比較） ◇職場に関係する問題 （ジェンダー、労働問題） ◇場所や地域を抱える 問題の共有と解決 （成功事例） ◇国旗、ゲームや遊び、 時差など世界の多様性 ◇ウソホントクイズ

グローバル・イシュー（地球的課題）ってどんな課題？

環境破壊・児童労働・エイズ・教育問題・DV・ストリートチルドレン・人口問題
女性問題・人種差別・金融危機・戦争・衛生問題・民族紛争・情報格差
南北問題・核問題・移民問題・難民問題・亡命・売買春・麻薬・テロ
臓器売買・メタボ・飢餓・コミュニケーション不足・砂漠化・エネルギー問題
食の安全　など

～教材活用実践プログラムの現場から～

アイデアが出るわ出るわ…

真剣っ！

身をのりだして話を聞く参加者

参加者の中にファシリテーター登場！

外国人も日本人もおとなも子どもも一緒

第２章

教材を120％活用する方法

「1つの国について学ぶ」だけでなく、
いろいろなテーマ、いろいろな場面で
教材が活用できるんです!

教材を活用するための3つのポイント

国際理解教育教材『わたしたちの地球と未来』は、いろいろな活用の方法があります。
役に立つところだけを部分的にピックアップして使うというのも1つの方法ですが、いくつかのアクティビティを組み合わせることによって流れをつくり、参加者が「気づき」「考え」「行動する」プロセスを作ることができます。
組み合わせのポイントをご紹介しましょう。

ポイント1　プログラムを考える前に確認しよう！

プログラムに参加するのは、どんな人たちでしょうか?どのくらいの知識を持っていると考えられるでしょうか?
本教材は、小学校5・6年生以上を想定して作っていますが、アクティビティによっては少し難しくなっています。
参加者にあわせてアクティビティを選んだり、アレンジしたりしましょう。
また、時間や場所によって、アクティビティの内容も変わってきます。

〇子ども? おとな? 子どもなら何歳ぐらい?
〇何人ぐらいの参加?
〇国際交流は初めて?
〇時間はどのくらい?
〇場所は? 教室なのかオープンスペースなのか? 机の移動は可能?　　など

ポイント2　プログラムのねらいを明確にしよう！

本教材は、国によって様々な視点からアクティビティが作られていますが、共通の手法、テーマもたくさんあり、うまく組み合わせることによって、様々なねらいを達成することができます。主に、次のようなねらいで活用することができるでしょう。

〇世界を肯定的・多面的に学ぶ →P.12
〇世界の多様性を学ぶ →P.16
〇日本と世界のつながりを学ぶ →P.18
〇「多文化共生」「環境」など地球的課題について学ぶ →P.20

ポイント3　プログラムのストーリーを考えよう！

アクティビティを組み立てるには、ねらいや参加者の意識に沿ったストーリーを作ることが大切です。
また、教材では、個人で考えたり、ゲームをしたり、クイズに答えたり、写真を並べたり…など、さまざまな手法が掲載されていますので、手法を組み合わせることによって、楽しく参加できる雰囲気をつくるとともに、多様な視点で気づくことができるプログラムをつくりましょう。ある国の教材の手法を別の国で応用することも可能です。
また、教材のアクティビティそのままでは、流れや雰囲気がつくりにくい場合もありますので、その場合は、自由にアレンジしてください。

〇「起・承・転・結」あるいは「導入・メイン・ふりかえり」の流れはできているか?
〇様々な手法がバランスよく組み合わされているか?
〇楽しい学びの場、雰囲気づくりができているか?　　など

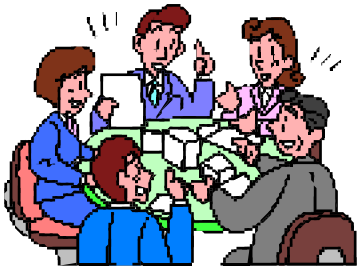
こんな場面で活用できます

教室活動として

総合学習の時間等、学校において活用していただけます。クラスで行う場合は、「知らない人同士知り合うためのアイスブレーキング」は必要ないかもしれませんが、参加型に慣れていない場合は、プログラム導入としてのアイスブレーキングで、雰囲気作りをするといいでしょう。1つのプログラムを行うためには、2コマ（90分）以上あるとやりやすいでしょう。
また、調べ学習と組み合わせたり、何回かの連続で授業を行うなど、学校ならではのプログラムづくりもできます。

国際理解講座で

単発の講座、連続講座などさまざまな講座を企画することができます。場や雰囲気をつくること、参加者がじっくり考える時間をとること、流れをつくることなどを考えれば、1回の講座は2～3時間かけるといいでしょう。また、アクティビティにもよりますが、グループ分けの時は5～6人のグループが参加しやすいです。



講演、講座などの導入として

講師が参加者に話を伝えるという形式の講演、講座などの導入として活用することができます。例えば、外国人からお話を聞くときの導入として写真を見せたり、クイズをしたり。
もちろん、導入としてではなく、講義の中で使うこともできます。

イベントで

地域で行われるフェスティバルなどのイベントの中で活用することもできます。イベントの場合は、参加者が不特定多数であること、人数が何人になるかわからないこと、場合によってはオープンスペースで人の出入りが自由ということなどを考慮しましょう。
ストーリーのあるプログラムより、クイズなど単独で行えるアクティビティをいくつか組み合わせた方がいいでしょう。
また、パネルやカード、地図などの小道具をうまく利用しましょう。

子ども対象の国際理解教育講座

おとな対象の国際理解教育講座

環境イベントのステージで

講演会の導入として

イベントで

第 3 章

たとえば
こんなプログラムがつくれます！

「ねらい」にあわせたプログラム例を
紹介します。

プログラムのねらいです。

プログラムをつくる時のポイントです。

アクティビティの手法です。

参考になる教材です。

プログラムの例です。
他にもいろいろ考えてみましょう。

※ 教材を紹介する項目の国名の次にある
数字はページ数です。

世界を肯定的・多面的に学ぶ

ポイント

○ 各国教材の主に第1章・第2章が使えます。
○ よく知っている国については、ステレオタイプのイメージだけでなくいろいろな面を知ることができるプログラムを、あまり知らない国については、親近感がもてるようなプログラムを組み立てましょう。
○ できるだけ、その国の人々の日常生活が見えるようなプログラムにしましょう。
○ 1つの国だけでなく、例えば「アフリカ」「中東」など地域について学ぶこともできます。
○ その国を学ぶことによって、自分たちの生活や地域をふりかえることもできます。
○ 「環境」「平和」など地球的課題を学ぶときの導入としても使えます。

あまり知らない国に肯定的に出会う・よく知っている国を多面的に学ぶ

ステップ1

○○って知ってる?

「クイズ100人に聞きました!」
「○○ってどんなイメージ?」
「どれが○○だと思う?」
「資料を読んで○○を想像してみよう」
「○○についてどんなことを知っているかみんなで出し合ってみよう」など
国の名前は聞いたことがあるけれど、どんな国なのか、本当に知ってる?
「知っているようで、実は知らない」ということに気づくことが第1歩。

使える手法・参考になる教材

ｱｾﾞﾙﾊﾞｲｼﾞｬﾝ5 ｲﾗﾝ7 ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ9 ｷﾙｷﾞｽ5 ｹﾆｱ5・7 ﾁｬﾄﾞ5 ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ7 ﾊﾟﾅﾏ9 ﾌｨｼﾞｰ5 ﾍﾞﾅﾝ7 ﾎﾞｽﾆｱ・ﾍﾙﾂｪｺﾞﾋﾞﾅ7 ﾎﾞﾘﾋﾞｱ5 南ｱﾌﾘｶ13 ﾓﾛｯｺ8 ﾗｵｽ9 ﾘﾋﾞｱ5

ステップ2

へぇ～○○ってこんな国だったんだ!

「いったいどこにあるんだろう?」
「どんな人たちが住んでいるんだろう?」
「何を食べて、どんな生活をしているのだろう?」「学校はどんな風なんだろう?」
「マップをつくってみよう」
「旅の企画をつくってみよう」
データだけではわからない「暮らし」や「さまざまな○○」を学びましょう。

使える手法・参考になる教材

「クイズ ウソ? ホント?」「クイズ」
「様々な○○」
ｴﾙｻﾙﾊﾞﾄﾞﾙ7 ｶﾒﾙｰﾝ9 韓国11 ｾﾈｶﾞﾙ23 ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ9 ﾗｵｽ9
「旅の企画をつくってみよう」
ｲﾀﾘｱ11 ﾍﾞﾙｷﾞｰ11
「マップをつくろう!」
ｷﾘﾊﾞｽ7 ﾊﾟﾅﾏ11 ﾌﾗﾝｽ13 ﾗｵｽ9
「年表をつくろう!」
ｴｼﾞﾌﾟﾄ11 ｶﾝﾎﾞｱｼﾞｱ11
「○○くんの1日」
ｾﾈｶﾞﾙ13 ﾓﾛｯｺ13 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ13 ﾗｵｽ29
テーマ別ｱｸﾃｨﾋﾞﾃｨ→P.17

ステップ3

○○って実はこんな国!

「○○ってどんな国だと思った?」
「どんなところが素敵だと思った?」
「もしも、だれかに○○のこと紹介するとしたらどんな風に紹介する?」
「初めに持っていたイメージと実際に学んだあとではどんなところが違っていた? 同じだった?」「どうして、違うイメージを持ってしまったんだろう?」「日本は外国からどう思われているんだろう?」など自分なりに、学んだこと、わかったことをまとめてみましょう。

使える手法・参考になる教材

「あなたはまちの宣伝部長!」
ｶﾞﾎﾞﾝ19 ｶﾒﾙｰﾝ23 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ23
「ようこそ○※★△の国④⑤」
ｲﾗﾝ7
「ｾﾈｶﾞﾙってどんなとこ?」ｾﾈｶﾞﾙ17
「ﾊﾟｷｽﾀﾝと日本、誇れるところ・頑張りたいところ」ﾊﾟｷｽﾀﾝ21

たとえば、ラオス人民民主共和国について学ぶなら…

ステップ1

1. クイズ100人に聞きました! ラオス7

ステップ2

2. ある!? ない!?（日本と比較） ラオス25
3. ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの（ウソ・ホントクイズ） ラオス15
4. さまざまなラオス（マップづくり） ラオス9

ステップ3

5. あなたはまちの宣伝部長! みんなにまちをPR! ポルトガル23の手法

たとえば、イタリア共和国について学ぶなら…

ステップ1

1. ようこそ〇※★△の国イランへ②
「イラン」を「イタリア」に変える イラン7の手法

ステップ2

2. Meraviglioso!! スゴイぞイタリア!（ウソ・ホントクイズ） イタリア7
3. 違いについて考えよう。その2 ①～②（日本との比較） イタリア25
4. Viaggiare!! イタリアを旅しよう!（イタリアの中の多様性） イタリア11
5. 違いについて考えよう。その1 ①（イタリアの課題） イタリア23

ステップ3

6. ようこそ〇※★△の国イランへ④⑤
「イラン」を「イタリア」に変える イラン7の手法

テーマを絞って学ぶこともできます。
たとえば、セネガルの子どもの生活について学ぶなら…

ステップ1

1. クイズ100人に聞きました! セネガル7

ステップ2

2. モクタールくんの1日 セネガル13
3. 学校へ行こう！ セネガル11
4. テランガの国セネガル!! セネガル9①②
5. 「セネガル人のおしゃれ講座!」を読む セネガル18

ステップ3

6. セネガルの子どもたちの生活はどんな風だった?
模造紙を2つに区切り、左に「セネガルの子どもたちのくらし」、右に「日本の子どもたちと同じところ・違うところ」をグループで書き出してみよう。
7. みんなで共有し、感想を話し合ってみよう。

地域や宗教など共通の要素を持った複数の国について学ぶ

欧米やアジアのことは比較的知っていることが多くても、アフリカや中東となるとあまり知らなかったり、マイナスイメージばかり強調されていたりします。その地域の複数国を学ぶことで、そうした固定観念をこわすとともに、地球全体の概要を把握しましょう。地域以外でも「イスラム教徒の多い国」「旧ソビエト連邦から独立した国」「サハラ砂漠に接している国」など、様々な視点で組み合わせることができます。また、共通の課題について考えたり、地球的課題を考えるための導入としても使えます。

ステップ1

◇◇ってどんなイメージ?

「◇◇はどの辺にある?」「◇◇の写真だと思うのはどれ?」
「◇◇にはどんな国がある?」など
※◇◇には共通の要素が入ります

ステップ2

◇◇にもいろいろな国がある。
共通点もあれば、違いもある!

「◇◇についてのクイズに答えてみよう」
「国別に写真を分類してみよう」
「◇◇のデータマップをつくってみよう」
「資料を読んで国をあててみよう」
など

ステップ3

◇◇ってどんな地域だった?

「最初に思っていたイメージとあっていた?」
「作業をやってみてどんな感想をもった?」
「◇◇のキャッチコピーを考えてみよう」
など

地域の状況等を取り上げている教材（地域以外のテーマについてはP.17）

アフリカ	ガボン13・15・23　カメルーン11 ケニア26 ベナン20・21 南アフリカ21
中東	イラン17
中央アジア	アゼルバイジャン13　キルギス15・19
太平洋	キリバス7
旧ソビエト連邦	アゼルバイジャン24・25
旧ユーゴスラビア連邦	ボスニア・ヘルツェゴビナ9
EU	ベルギー25
カスピ海	アゼルバイジャン13

外国を学ぶことによって日本をふりかえる

「外国へ行くと、日本のことがよくわかる」とよく言われるように、外国を学ぶことによって見えてくる日本もあります。自分の住んでいる国・地域についても、課題は課題として受け止め、肯定的に誇りがもてるようになるといいですね。

ステップ1

△△って知ってる?

「△△はどこにある?」

「△△ってどんな国?」

「△△の人たちはどんな暮らしをしてるのだろう?」

など

→P.12「あまり知らない国に肯定的に出会う・よく知っている国を多面的に学ぶ」をアレンジする。

ステップ2

△△を知って、日本や地域をふりかえる

では、日本(地域)と比べてみよう。

「この写真、どちらが△△で、どちらが日本(地域)?」

「日本と似てる? 違う?」

「同じようなもの(こと)は日本にもある? ない?」

など

ステップ3

比べてみてどう思った?

「比べてみて、どんなことを思った? どんなことがわかった?」

「△△から見た日本 日本から見た△△」

「△△と日本、誇れるところ・頑張りたいところ」

など

★活用講座では日本について、次のようなアイデアが出ました。

日本の誇れるところ	文化がすばらしい／食べ物がおいしくてカロリーが低い／物が豊か／水がおいしい・きれい／人間関係が濃い(田舎)／治安が良い／清潔／家がきれい／礼儀正しい／謙譲の美徳がある／時間を守る／交通機関が発達し、正確／平和である／銃がない／就学率・識字率が高い／情報がどこでもいきわたっている／勉強する機会がある／勤勉である／チャレンジ精神がある／モノづくりが盛ん／器用／技術・ハイテクノロジー／コンビニ・百均がたくさんある／新幹線／インフラ(水道・電気・ガス)が整備されている／富士山／温泉／四季がある／アニメ／お札が美しい／銀行が安心／海外援助／餓死がない／長生き
日本の頑張りたいところ	人間関係が希薄／家族、他世代、地域での関わりが少ない／島国だから他の人との接し方が下手／忙しすぎる／労働時間が長い／ストレス社会／政治(家)が心配／年金問題／少子化高齢化社会／貧富の差の拡大／失業率が高い／地域格差／交通手段(値段)が高い／環境破壊をしている／使い捨て(ゴミが多い、物を大切にしない)／化石燃料に頼りすぎ／食料自給率が低い／モラルがあいまい／訳のわからない事件・犯罪が発生する／夢を持っている子どもが少ない／テレビゲームがすぎる／自分のことだけに必死／子どもに自信がない／元気がない／世界遺産とか大切にしない人が多い／自殺者が多い／交通事故が多い／地震・台風が多い

世界の多様性を学ぶ

ポイント

○ 120カ国の教材だからこそ、組み合わせることによって世界の多様性を学ぶことができます。
○「ウソ・ホントクイズ」など同じ手法のアクティビティを組み合わせて、多様性を学ぶこともできますし、同じテーマのアクティビティを組み合わせることもできます。
○「わぁー世界ってこんなにいろんな国があるんだ」「へぇ～こんな国もあるんだ」「違うようで意外と似てるんだ」など、世界一周旅行をするような、楽しいワクワク体験をしましょう。

同じ手法を組み合わせて世界の多様性を学ぶ

ウソ・ホントクイズ

すすめ方例 1

1. グループの人数分の国の「ウソ・ホントクイズ」のページをコピーする。
そのとき、グループごとに組み合わせを変えてもいいし、同じ組み合わせでもOK。
2. グループで1枚ずつコピーをとり、各自でクイズをやってみる。
3. クイズは各国8～12問あるので、その中から、「びっくり!」「おもしろかった!」と思うクイズを2～3問選ぶ。
4. グループの中で、お互いに選んだクイズを紹介しあう。

すすめ方例 2

1.「ウソ・ホントクイズ」を数カ国分バラバラに切って混ぜ、グループに配る。
※配られる国の組み合わせはすべてのグループ同じ。ただし、クイズは異なる。
2. グループみんなでクイズに答える。
3. 国名を書いた模造紙半分を、国の数分用意し、各グループ順番に回していく。
模造紙がまわってきたら、その国に関するクイズを参考に、その国の情報を書き込む。
4. すべてのグループに模造紙がまわったら、最後に情報を書き込んだグループがみんなにその国のことを紹介する。

フォトギャラリー

すすめ方例 1

1. 数カ国のフォトギャラリーのページをコピーし、各グループに3～5カ国分を配る。
※国名は伏せておく。
2–1　似たもの同士グループ分けをし、その理由も考える。
2–2　好きな写真ベスト5を各自で考え、その理由と一緒にみんなに発表する。

すすめ方例 2

1. 数カ国のフォトギャラリーのページをコピーしてバラバラに切り分け、各グループにいろいろな国を混ぜて配る。　※国名は伏せておく。
2. 全部のグループの国名を伝える。
3 自分たちのグループの持っているフォトはどこの国のものか、考える。

キャッチフレーズ

（各国教材第1章のタイトル「○○ってどんな国？」についているサブタイトル）

すすめ方例

1. 世界地図（巻頭）と「キャッチフレーズカード」「国旗カード」「国名カード」（すべてP.28）をバラバラに切り離したカードをグループに配る。
2. キャッチフレーズ、国旗、国名を組み合わせて、世界地図のその国の位置に貼る。
※対象者によっては難しいので、ヒントを盛り込んだりカードの数を減らしたりする。
3. 答えを聞いて、みんなで感じたこと、感想などを話し合いましょう。
※このキャッチフレーズは、原稿執筆者が主観的につけているものなので、「え～っ?」というものもあるかもしれません。正しいキャッチフレーズがあるわけではないので、それらも含めて感想を共有しましょう。

テーマを絞って世界の多様性を学ぶ

テーマに絞ったプログラムをつくることもできます。

教材で取り上げているテーマ

テーマ	掲載されている教材
学校・教育制度	アゼルバイジャン10　エジプト9　イタリア14・15　オランダ11　ガボン11 カメルーン15　キリバス12　サウジアラビア11　セネガル11　チャド13 ニュージーランド12・15　パナマ16　フィジー11　フランス17　ポルトガル14 モロッコ14　ラオス13・30
料理	アゼルバイジャン10　イタリア9　イラン15　ウズベキスタン13　エジプト13 エルサルバドル9　オランダ9　ガボン13　韓国11・17　カンボジア25 キリバス11　キルギス11・25　サウジアラビア25　セネガル15 チャド12 ドミニカ6・11　ニュージーランド13　パキスタン9　パナマ23　フランス15 ベナン11　ベルギー15　ボスニア・ヘルツェゴビナ13　ボリビア9 ポルトガル9　モロッコ12　ラオス23
料理レシピ	エルサルバドル9　オランダ17　キルギス25　セネガル30　ベルギー17・31 ポルトガル15　モロッコ18
ことば	ウズベキスタン17　オランダ17　サウジアラビア15　ベナン15
ことわざ・民話	エジプト17　カンボジア21　モロッコ20
祭り・行事	イタリア13・15　イラン21　モンゴル15　ラオス21
1日のスケジュール	セネガル13　ポルトガル13　モロッコ16　ラオス29
大切にしていること	イタリア29　韓国23　ラオス15
国旗	ガボン15　カンボジア11　キルギス9　ボリビア8　南アフリカ12　リビア7
世界遺産	イタリア11　ウズベキスタン10　エルサルバドル25　カンボジア13 ベルギー13・14　リビア9
民族衣装・おしゃれ	ウズベキスタン33　韓国9　サウジアラビア13　セネガル18　ベナン13 モロッコ9　ラオス11・17
イスラーム教	イラン17　サウジアラビア7　モロッコ10
遊牧民	キルギス9　モロッコ13　モンゴル7
カカオ	カメルーン19　ボリビア27
キャッサバ	ガボン13　カメルーン14
遊び・じゃんけん	モロッコ21　モンゴル11
お茶・飲み物	セネガル10　フィジー14　ボリビア10
コロンブス	カメルーン21　ドミニカ11・15・17

日本と世界のつながりを学ぶ

ポイント

○ 各国教材の、主に第2章が使えます。
○ 日本と世界のつながりを通して、「食」「エネルギー」などのテーマについて考えることも可能です。
○ 日本と世界のつながりを学ぶことによって、「国際交流」「国際協力」について考えることもできます。
○ 地球的課題（P.20～27）について考えるための導入として学ぶこともできます。

日本と世界がつながっていることに気づく

複数の教材を使い、自分が知らなかったような国とも「実は日本とつながりがある」ということを知り、日本がいかに世界とつながっているかに気づきましょう。

ステップ1

〇〇・□□・△△…って知ってる?
「どこにある?」「どんな国?」
「その国についてどんなことを知っている?」など
→P.12「あまり知らない国に肯定的に出会う・よく知っている国を多面的に学ぶ」をアレンジする。

ステップ2

へぇ～〇〇・□□・△△…と日本
「日本とはつながりがある? ない?」「日本とのつながりウソ?ホント?」
「写真からつながりの物語を読み取ろう」キリバス17
「日本と似てる? 違う?」

ステップ3

世界の中の日本「国際交流」は必要? 大切?
「もしも外国とのつながりがなくなってしまったら日本はどうなるんだろう?」2008年教材第4章
「国際交流・国際協力は何のためにするんだろう?」

テーマ	掲載されている教材
日本とのつながり ウソ?ホント?	アゼルバイジャン17　ウズベキスタン21　エジプト15 エルサルバドル13　ガボン17　カンボジア23　キリバス19 キルギス13　ケニア19　サウジアラビア17　パナマ25 フランス21　南アフリカ19　モロッコ22　ラオス19　リビア15
日本と似てる? 違う?	イタリア19　フィジー17　ベルギー19　ボリビア13 ポルトガル17・21　ラオス25
日本の中の…	イタリア17
ことばのつながり	イタリア17　エジプト17　オランダ21　韓国25 サウジアラビア19　ベナン15　ポルトガル19
歴史的なつながり	エジプト11　オランダ19
スポーツのつながり	ウズベキスタン23　エジプト15　セネガル21　ドミニカ13 モンゴル13

あるテーマを通して世界とのつながりを考える

「食糧自給率」「エネルギー」「国際協力」などのテーマで、日本と世界のつながりを考えるプログラムをつくることもできます。

ステップ1

日本と世界はいろいろなところでつながっている!

テーマに絞ったつながりについて学びましょう。
導入としてP.18のプログラムも使えます。

ステップ2

もしも、外国とのつながりがなくなってしまったら、日本はどうなってしまうんだろう?

「もしも外国とのつながりがなくなってしまったら?」
日本はどうなってしまうでしょう?
もちろん、悪いことばかりではないかもしれません。

ステップ3

では、どうすればいいんだろう?

外国とつながっていることで、いい面も悪い面もあります。
では、国際社会の中で、日本は外国とどんな関係を築いていったらいいのでしょう?
そのためには、どうすればいいでしょう?
わたしたち自身にできることは何でしょう?

テーマ	掲載されている教材
食糧自給率	ニュージーランド17・19　フランス27　モロッコ26
エネルギー・資源	アゼルバイジャン21　イラン25　ケニア21　南アフリカ20
国際協力	ウズベキスタン24　エルサルバドル15　ガボン24　カンボジア24・29 キリバス20　セネガル23・25・27　チャド17　ボスニア・ヘルツェゴビナ17 南アフリカ23　ラオス20
移民	ドミニカ23　ボリビア15
まちづくり	イタリア27　サウジアラビア23

地球的課題について学ぶ ～人権～

ポイント

○ 世界は多様。だからこそおもしろい。でも、みんなに共通に守られなければいけないものもあります。みんなに共通に守られなければいけない「人権」とは何なのかを考えましょう。

○ 今、世界の現状はどうでしょう? みんなの人権は守られているのか、日本はどうなのか? 日本に住む人々の人権は守られているのか?を考えましょう。

○ 現状を踏まえるとともに、その歴史的背景も知ります。

○ 人権を守るために、大切なこと、必要なこと、できることを考えましょう。

○ 本マニュアルでは、地球的課題として「人権」「平和」「環境」「多文化共生」に分けてプログラム例を紹介していますが、それぞれの課題は関連しています。他のテーマについても参照してください。

教材で取り上げているテーマ

テーマ	掲載されている教材
人権侵害	南アフリカ27
世界人権宣言	南アフリカ28
格差・貧困	イタリア23　サウジアラビア24　セネガル24 ドミニカ19　ポルトガル31 モロッコ28
教育	パキスタン25・29
子どもの権利	パキスタン26　ボリビア21 モンゴル24
児童労働	ボリビア21 パキスタン 26・29

テーマ	掲載されている教材
児童労働	ボリビア21　パキスタン 29
ストリートチルドレン	モンゴル21
ジェンダー	エジプト23
フェアトレード	ボリビア21
植民地	ケニア28　ポルトガル31
奴隷貿易	セネガル27　ベナン19
豊かさと幸せ	カメルーン27 カンボジア31 セネガル31 ドミニカ22

『人権』って何だろう？

どこに住んでいるだれにとっても守られるべき「人権」が本当に守られているのか、世界の事例を通して考えてみよう。

ステップ1

わたしたちの「人権」チェック

1. 「あってもいい違い」と「あってはいけない違い」それは何だろう?

南アフリカ27①～②

ステップ2

世界の「人権侵害」の実情を知る

2. 次の資料を読む。

南アフリカ29資料1　モンゴル21「ストリートチルドレンの資料」
ベナン19「奴隷貿易の資料」

3. 2で読んだ資料の事例や自分自身の人権が守られているかどうかチェックしてみよう。チェックした表で△や×のついているところは、たとえばどんな場面で守られていないのか、なぜ守られていないのかをグループで話し合おう。

南アフリカ27③、28の表にモンゴル、ベナンの欄追加

ステップ3

あってはいけない違いをなくすために、どうすればいいのだろう?

4. △や×を○にするためにはどうすればいいのか、自分に何ができるのか、みんなで話し合おう。

格差と貧困について考えよう

世界には経済的に豊かな国と、極度に貧しい国とがある。このような格差ができてしまった背景を知り、みんなに選択肢がある社会をつくるにはどうすればいいか考える。

ステップ1

格差・貧困に関する世界の状況を知ろう。

1. 様々な格差について書かれた資料を読んでみよう。
   - イタリア23①（1国内の格差）
   - ドミニカ19①（隣国同士の格差）
   - 南アフリカ21①②（世界の中の格差）

ステップ2

格差の原因と影響を考えよう。

2. 格差ができた歴史、構造を知る。
   - ベナン19①～③ セネガル27①～⑥
3. このまま格差が広がっていってしまったらどうなるだろう?
   - イタリア23③

ステップ3

どうすれば、構造的な格差がなくなるのだろう?

4. 構造的な格差をなくすために、世界ではどのような取り組みがなされているのだろう? 資料を読んでみよう。
   - ボリビア26（フェアトレードの紹介）
   - モロッコ31（マイクロクレジットの紹介）
5. 構造的な格差をなくすために、私たちにできることはあるでしょうか? グループで考えてみよう。

「幸せ」って何だろう？ 今、子どもたちの権利は守られてる？

子どもの人権が守られていない世界の現状を知るとともに、日本の子どもの権利についても考え、人が幸せに生きるために必要なものは何なのかを考える。

ステップ1

「子どもの権利」とは何だろう?

1. 子どもにとって守られるべき権利とは、具体的にどんな権利だと思いますか? グループで自由に出し合ってみましょう。
2. 「子どもの権利条約」について資料を読んでみましょう。
   - ボリビア24

ステップ2

今、世界で子どもの権利は守られているのだろうか?

3. 世界の実情を知る。
   - モンゴル21①②（ストリートチルドレン）
   - ボリビア21③（児童労働）
4. モンゴル、ボリビア、そして日本の子どもたちの権利は守られているのでしょうか?
   - ボリビア22の表でチェックする。

ステップ3

子どもの権利を守るということはどういうことなんだろう?

5. 「権利を守る」ということと「幸せだと思う」ということは別のこと。どんな人にも守られるべき「権利」というのは何なのか、考えてみよう。
   - カンボジア31

地球的課題について学ぶ ～平和～

ポイント

○「平和」という視点から、自分たちの生きる社会（地域・世界）をふりかえりましょう。
○ 世界の戦争、紛争の現状や原因と、自分たちの身近な対立から、平和とは何なのかを考えます。
○ 積極的平和と消極的平和の定義を知り、戦争がない状態だけでは平和ではないことを理解します。
○ 何があれば「平和」だと言えるのか?平和の要素を確認します。
○ 積極的平和を創りだすために、大事なこと、必要なこと、できることを考えましょう。
○ 本マニュアルでは、地球的課題として「人権」「平和」「環境」「多文化共生」に分けてプログラム例を紹介していますが、それぞれの課題は関連しています。他のテーマについても参照してください。

教材で取り上げているテーマ

テーマ	掲載されている教材
戦争・紛争	エルサルバドル23・25　カンボジア27　パキスタン31　ボスニア・ヘルツェゴビナ21　ラオス31
平和指数	ニュージーランド21
平和な社会	パキスタン32　ボスニア・ヘルツェゴビナ22
平和への取り組み	ボスニア・ヘルツェゴビナ17

戦争は起こさない！！

自分とは関係ないと思っている戦争や紛争。でも、実はほんのささいなことで起こってしまうことを知り、戦争や紛争が起こらない社会をつくるためにできることを考える。

ステップ1

世界では、どんな戦争・紛争が起こっているのだろう?

1. 今、世界では戦争・紛争は起こっている? 知っている戦争はある?
2. 今、起こっている戦争にはどんなものがあるか確認しよう。

パキスタン31「紛争地図」32「最近の主な紛争・対立など」「カシミール紛争」ボスニア・ヘルツェゴビナ23「ボスニア紛争」 エルサルバドル23「サッカー戦争」エルサルバドル25「エルサルバドル内戦」

ステップ2

戦争・紛争はどうして起きてしまうんだろう?

3. 世界の事例から、戦争・紛争の原因を考えてみよう。

ボスニア・ヘルツェゴビナ17①②のあと、ボスニア23「ボスニア紛争～どうして起こってしまったんだろう?～」の資料を読む。

4. 3で考えた戦争・紛争の原因。日本には似たようなことはない?
身近に同じようなことがないか、グループで話し合ってみよう。

ステップ3

戦争・紛争が起こらないようにするためには、どうすればいいのだろう?

5. 3で考えた原因が、戦争や紛争にまで激化しないためのプロジェクトを考えてみよう。

ボスニア・ヘルツェゴビナ17③ のあと、ボスニア18・19の取り組みに関する資料を読む。

6. 今までの作業を通して、戦争や紛争を起こさないために必要なことは何か、大切なことは何か、みんなで考えてみよう。

平和って何だろう？ 今わたしたちは平和かな？

平和に暮らしたい。幸せに暮らしたい。それは、誰もが望む共通の願い。
でも、平和って何だろう? 何があれば幸せなんだろう? 今、平和だと思うところはどんなところ?
今、平和じゃないなって思うところはどんなところ? 世界のいろいろな状況から、「平和」について考えてみよう。そして、「平和」って誰かが創ってくれるものなのか、どうやって平和であり続けることができるのか、一緒に考えてみよう。

ステップ1

「平和」の反対は「戦争」!? だとしたら、世界は平和ではありません!

1. 平和って何だろう?
   - ニュージーランド21 「平和指数世界第2位の国NZ]
2. 世界は今、平和かな? 今、この時も、戦いの中の国がある
   - パキスタン31 「平和について考えよう!」(紛争地帯の地図)

ステップ2

どうして戦争は起きるんだろう? どうして今も世界には戦争があるんだろう?

3. なぜ戦争は起こったのか? 戦争は他人事じゃない…身近に火種はない?
   - エルサルバドル23「サッカー戦争」
4. 戦争が終わっても平和とは限らない
   - ラオス31 「ラオスに残る不発弾」
5. どうしたら戦争は防げるのか? 戦争を超えられるのか?
   - ボスニア・ヘルツェゴビナ21「気がついたら戦争が始まっていた」

ステップ3

「消極的平和」と「積極的平和」について知ろう! そして、平和を創りだす私たちになろう!

6. 戦争がないことだけが平和ではない!
   - ベナン21「平和の国、ベナン、でも…」
7. 平和を創りだすために、私たちのできること
   - ニュージーランド22 「NZのヒロシマ・デー」

※「消極的平和」と「積極的平和」

一般的に、「平和」と「戦争」は対のものとして理解されていますが、ノルウェーの平和研究者ヨハン・ガルトゥングが、「戦争さえなければ本当に平和なのか」という疑問から「構造的暴力」という概念を提起しました。
ガルトゥングは、極度の貧困(貧富の差)、政治的抑圧、人種差別、飢餓など明確な加害者が存在せず、社会の構造や制度に組み込まれた暴力を「構造的暴力」と呼び、これを排除してこそ平和であると理論づけました。その状態を「積極的平和」、戦争のように加害者が明確な人為的暴力の存在しない状態を「消極的平和」と呼びます。

地球的課題について学ぶ ～環境～

ポイント

○「環境問題」には、具体的にどんな課題があるのかを知りましょう。
○ それぞれの課題について、原因、現状を考えましょう。
○ 環境問題がこのまま進んだらどうなるのか、自分自身の問題として、環境問題をとらえましょう。
○ 環境問題を解決するために、大切なこと、必要なこと、できることを考えます。
○ 本マニュアルでは、地球的課題として「人権」「平和」「環境」「多文化共生」に分けてプログラム例を紹介していますが、それぞれの課題は関連しています。他のテーマについても参照してください。

教材で取り上げているテーマ

テーマ	掲載されている教材
環境問題（用語説明）	オランダ31　ポルトガル27
温暖化	オランダ29　キリバス23　フィジー21　ポルトガル30　南アフリカ26
ゴミ問題	エルサルバドル21　キリバス25
絶滅危惧種	ガボン25　ケニア13・25 パナマ29　南アフリカ13
自転車	オランダ13　フランス29
エネルギー・水	アゼルバイジャン21　イラン25　ガボン27　キルギス19　ドミニカ27　チャド21
砂漠化	ケニア30　チャド23　モンゴル19
森林伐採	ガボン25　ケニア29　南アフリカ25
持続可能な開発	ウズベキスタン29

「環境問題」って何だろう？

「環境問題」と一言で言っても、その内容は様々。地球環境問題の全体像を把握し、海外の取り組みを知るとともに、解決にむけてできることを考える。

ステップ1

「環境問題」って何?

1.「環境問題」と言われたら何が思い浮かぶ? 思いつくものを模造紙に書き出してみよう。

ポルトガルP.27②

ステップ2

今、世界ではどんなことが起こっている?

2. 環境問題の事例とその解決のための取り組みの資料を、国名を隠してバラバラに切り、グループに配布する。1で模造紙に書き出した項目に当てはまると思う事例と取り組みを貼る。

上表「教材で取り上げているテーマ」の事例

3.「地球環境問題」について説明する。 ポルトガルP.29

ステップ3

環境を守るためにできること

4. 環境を守るために、自分自身は何ができるか、何をしようと思うか、1つ考え、紙に書き出して発表する。

ポルトガルP.29

Stop！ 地球温暖化

「地球温暖化」の原因も影響も、自分たちの生活の大きく関係していることを知り、温暖化を止めるためにできることを考える。

ステップ1

「地球温暖化」って知ってる?

1.「地球温暖化」について知っていることを書きだしてみよう。

オランダ29①　フィジー21①

ステップ2

「地球温暖化」が進むとどうなるの?

2.「地球温暖化」が原因だと考えられている事例を紹介する。

3.「地球温暖化」の原因と影響について考えてみよう。

キリバス23①

4.「地球温暖化」は日本にはどんな影響があるのか考える。

ステップ3

「地球温暖化」を阻止するためにはどうすればいい?

5. 温暖化を阻止するためにどうすればいいか、グループで考え、「地球温暖化を阻止するための5カ条」をつくる。

地球から生き物がいなくなっちゃう？

生物の多様性と、人間の暮らしが生物に大きな影響を与えているということを知り、生物を絶滅させないためにできることを考える。

ステップ1

地球にはどのくらいの生き物がいる?

1. 生物に関するクイズに答えてみよう。パナマ29①～③

ステップ2

絶滅しちゃう生き物たちが絶滅してしまう原因は何なんだろう?

2. 生き物が絶滅してしまう原因は何だろう?

ガボン25①「ゴリラを救おう! プロジェクト」

3. 生き物が絶滅したら、どんなことが起きるのだろう? グループで派生図をかいて考えてみよう。

パナマ30 または 南アフリカ25

4. どうすれば絶滅しないようにできるのだろう?

ガボン25②③「ゴリラを救おう! プロジェクト」

ステップ3

人間も人間以外の生き物も暮らしやすい地球にするため、できることは何だろう?

5. 各自できることを5つずつ考え、グループで7カ条にまとめてみよう

地球的課題について学ぶ ～多文化共生～

ポイント

○ 自分の価値観、文化が否定されたらどんな気持ちがするでしょうか?
文化に優劣はないこと、どんな文化、価値観も尊重されなければいけないことを理解しましょう。
○「多文化共生社会」とはどういう社会のことをいうのか、考えましょう。
○ 海外の事例を通して、「多文化共生社会」を実現するためにどのような取り組みができるのか考えましょう。
○「多文化共生社会」を実現するためにできることは何なのかを考えましょう。

教材で取り上げているテーマ

テーマ	掲載されている教材
ちがい	イタリア25　ポルトガル17
多様な人種・民族	ウズベキスタン15　オランダ27　カメルーン10　キルギス7　フランス31
国境	アゼルバイジャン24　エジプト7①　キルギス22　ケニア27　ドミニカ19
植民地	ポルトガル31
先住民族	ドミニカ11　ニュージーランド23
移民	イタリア25　ドミニカ23　ボリビア15
高齢化社会	韓国29
多文化共生社会	2009年教材第4章
まちづくり	イタリア27　サウジアラビア23　リビア19

ちがいを認め、ちがいを楽しむ社会をつくろう！

普通だと思って普段やっていることが、必ずしも「普通」ではないことに気づくとともに、それを否定された時の気持ちを想像して、多様な文化を認める心を育てる。

ステップ1

これって「ヘン」?

1. 自分が普段やっていること、みんなはどうしているのか、共有してみよう。
   イタリア25①②　ポルトガル17①

ステップ2

たとえ、「ヘン」と言われても…!!

2. 世界にはいろいろな文化や習慣があることを知ろう!
   ポルトガル18「常識・非常識シート」　イタリア26「イタリアあれこれ」解説
3. 自分がやっていることが「ヘン」って言われたら、どんな気持ち?
   ポルトガル17②

ステップ3

「ちがい」とどうつきあう?

4. 普段の生活の中で、自分とちがう意見や考え方と出会ったら、あなたならどうする?
   イタリア25④

『多文化共生社会』ってどんな社会？

世界には、多民族国家がたくさんある。外国人がたくさん住んでいる国もある。そうした国の、いろいろな事例を通して、「多文化共生社会」について考えよう。

ステップ1

多様な人々が集まる国々

1. どんな人たちが住んでいるのだろう? 各国の民族構成のグラフを見て、どの国のグラフか考え、国名と線で結ぶ。

   ウズベキスタン39　エルサルバドル31　キルギス31　サウジアラビア31
   ドミニカ31　パナマ37　フィジー31　モロッコ4　モンゴル31 から抜粋

2. どんな人たちが住んでいるのだろう?

   キルギス7

3. 日本にはどんな人たちが住んでいるのだろう?

   ウズベキスタン15

ステップ2

多様な人々が共に生きるということ

4. 資料を読む。

   イタリア26「差別問題」　オランダ28「オランダの光と影」
   フランス32「2005年パリ郊外事件」　33「目立つ外見 いじめも」
   ニュージーランド23「マオテアロア」

5. 「多様な人々が住んでいる」ということは悪いこと? 多様な人々が住んでいることのいいことをできるだけたくさん書き出してみよう。

ステップ3

『多様な人々が住んでいる』ことの強みを生かす社会をつくるには?

6. よりよい「多文化共生社会」を実現するために何ができるか考える。

   2009年教材第4章「多文化共生社会」ってどんな社会?①②④

国って何だろう？

あなたはなに人? それはなぜ? 人の移動がグローバル化した今、「国」とは何か、あらためて考えてみよう。

ステップ1

国境ってどうやって決まったんだろう?

1. 直線でひかれた国境線　ケニア27①②
2. 国境線にまつわるあれこれ　キルギス21①②

ステップ2

国って何だろう?

3. 国境がそうやって決まったとしたなら、「国」っていったい何だろう?
   もしも、国境が急に変わって、今の国の人じゃなくなってしまったとしたら、どんな気持ちがする? 国が変わってしまっても、守りたいものは何?

ステップ3

みんなが誇りをもって暮らせる社会に大切なこと

4. 国境がかわったわけではないけれど、何らかの理由で外国に住むことになった人たちにとっても、守りたいものはあるはず。誇りをもっているものはあるはず。住んでいる社会のルールは守らなければいけないけれど、どこに住んでも守られるべきものもある。それをお互い、傷つけないようにするために大切なことは何だろう?

アゼルバイジャン共和国		多様な人々、多様な文化が混在する“燃える”国
イタリア共和国		世界中を魅了する、美・食・愛あふれる国
イラン・イスラム共和国		長い歴史と多様な文化、そして誇り高き人々の住む国
ウズベキスタン共和国		アジアの中央にある文化の交差点 未来へ羽ばたく若人の国
エジプト・アラブ共和国		その歴史が人々を魅了する、アフリカ大陸の玄関口
エルサルバドル共和国		『中米の日本』と呼ばれた国
オランダ王国		風車・チューリップだけじゃない、 王国・ミッフィー・ゼロメートル地帯
ガボン共和国		緑豊かな自然にあふれた国
カメルーン共和国		多様性に富んだ「アフリカの縮図」
カンボジア王国		不幸な歴史を背負い、輝ける未来へガンバる国
キリバス共和国		サンゴ礁でできた太平洋の島国 ～地球の楽園～
キルギス共和国		高い山々に囲まれた草原と湖の国
ケニア共和国		サバンナだけでない多様な国
サウジアラビア王国		世界のイスラムの中心 石油が生み出す富
セネガル共和国		みんな家族!?
大韓民国		新しいものと古いものが調和した国
大リビア・アラブ社会主義 人民ジャマーヒリーヤ国		実はシャイではにかみや。浪漫とノスタルジーの国
チャド共和国		子どもたちが誇りを持って生きている国
ドミニカ共和国		踊って混ぜて、混ぜて踊って 文化融合が得意なカリブの国
ニュージーランド		青い空、白い雲、豊かな自然と多様性に富んだ国
パキスタン・イスラム 共和国		お酒がなくても酔える! 多彩な魅力に満ちた国
パナマ共和国		多様な人々、多様な伝統文化、多様な生物に出遭える国
フィジー諸島共和国		自然と伝統と家族の絆を大切にする心優しい人たちの住む国
フランス共和国		パリだけじゃないっ! さまざまな『フランス』
ベナン共和国		平和と笑顔、心の豊かな国
ベルギー王国		チョコレート、ダイヤモンド、次にくるのは?
ボスニア・ヘルツェゴビナ		平和に向かって歩き始めた国
ボリビア共和国		アンデスの風とフォルクローレ 伝統と文化が織りなす自然の国
ポルトガル共和国		遠くても身近に感じちゃおう!
南アフリカ共和国		キラキラ輝く国
モロッコ王国		日沈む国～日出づる国、日本へ
モンゴル国		大草原に息づく遊牧の暮らし
ラオス人民民主共和国		伝統を守り続ける癒しの国

第４章

こんな活用してみました！

子ども(親子)対象の国際理解講座～世界とのつながり～

食ショック！！

対象
小学生親子

時間
75分

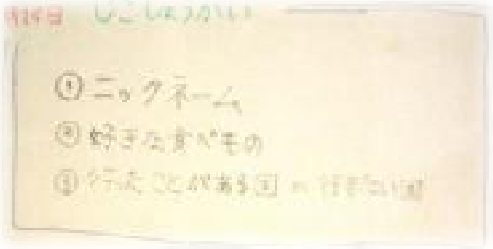
ねらい
○ 食料問題を通して、外国とのつながりに気づいてもらう
○ 食べ物の大切さを知ってもらう

準備するもの
マジック　模造紙　A4用紙
チョコレート・コーヒー・バナナの絵カード(グループ分け)　自給率を考える料理の絵
わくわくワークシート

使用する教材
ポルトガル　オランダ　モロッコ　フランス　ボリビア　チャド

進め方

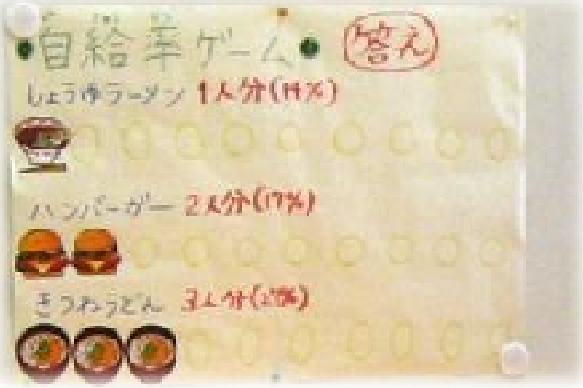
時間(分)	アクティビティ	ねらい	進め方	使用する教材
10	アイスブレーキング グループ分け		食料問題に関係する食べ物のカードを使ってグループ分けをする。(絵合わせゲーム)	
5	日本語探しゲーム	身近なところに、実は外国と関係したものがたくさんあることを知る。	外来語の中から、もとから日本語のことばをさがす。(写真①)	ポルトガル P.19 オランダ P.21
10	自給率ゲーム	言葉以外にも実はいろいろなところで外国とつながっている。外国とのつながりはなくてはならないものだということに気づく。	ごはんの自給率を紹介した後、3つの食べ物について「10人中何人が食べられるか」を考える。(写真②)	モロッコ P.26 フランス P.27～28
5	豆知識	グループ分けに使った、バナナ、コーヒー、カカオやチャドの食料問題を事例に、世界の食料事情について知る。	ワークシートを使って世界の食料事情を紹介(写真③)	ボリビア P.26 チャド P.12
10	休憩			
20	もしも外国から食料が輸入されなくなったら	外国とのつながりがなくなったら、現在の生活はできないことを知る。	外国から食料が輸入されなくなったらどうなるか、派生図で考える。(写真④)	モロッコ P.26
15	ふりかえり			



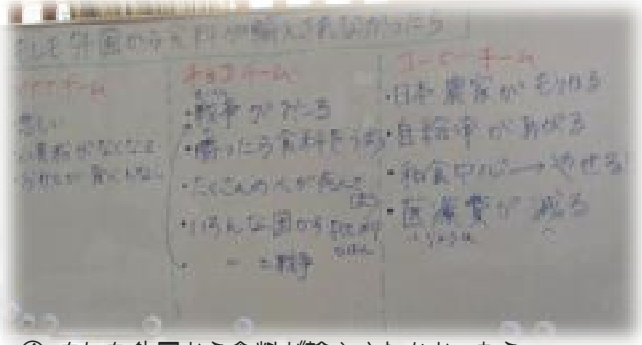
真ん中の「バナナ」はグループ分けに使った絵カード

① どれが元から日本語のことばかな？

③ わくわくワークシート



② 料理の絵を切ったものを各グループに配布し
模造紙に貼ってもらいました



④ もしも外国から食料が輸入されなかったら
マイナス面だけでなくプラス面も出ました。

ワイワイガヤガヤ！

子ども(親子)対象の国際理解講座 ～平和～

平和な世界のつくり方

対象
小学生低学年親子

時間
90分

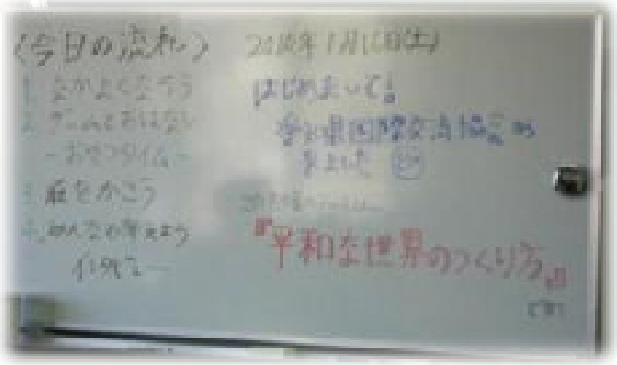
ねらい
平和な世界の実現に向けて、自分に何ができるかを考える

準備するもの
マジック　模造紙　画用紙
豆 箸 皿 大きな世界地図 戦争を説明する紙芝居

使用する教材
エルサルバドル

進め方

時間(分)	アクティビティ	ねらい	進め方	使用する教材
10	アイスブレーキング グループ分け	心も体もほぐす	フルーツバスケット	
30	サッカー戦争を知ろう!	ゲームを通して、当事国の人々の気持ちを考えるとともに、ほんのささいなきっかけで戦争は起こってしまうこともあるということを知る。戦争は遠い話のようだけれど、原因は身近。	1. 2つのグループに分かれ、豆をお箸で皿から皿へと移すゲームをする。一方のグループが移している時、もう一方のグループはそれを妨害する。(写真①) 2.「サッカー戦争」について説明(写真②)	エルサルバドル P.23～24
10	休憩			
20	あなたが幸せを感じるときは?	一人ひとりの幸せを壊してしまう状態というのは、「平和」ではないことに気づく。	どんな時がしあわせか、絵に描いてみる。 みんなで発表する。(写真③)	
15	平和な世界のつくり方	みんなの幸せを大切にするために自分にできることは何か考える。	平和な世界をつくるために、自分にできることを書き出し、発表する。(写真④)	
5	ふりかえり		感想を聞く。	

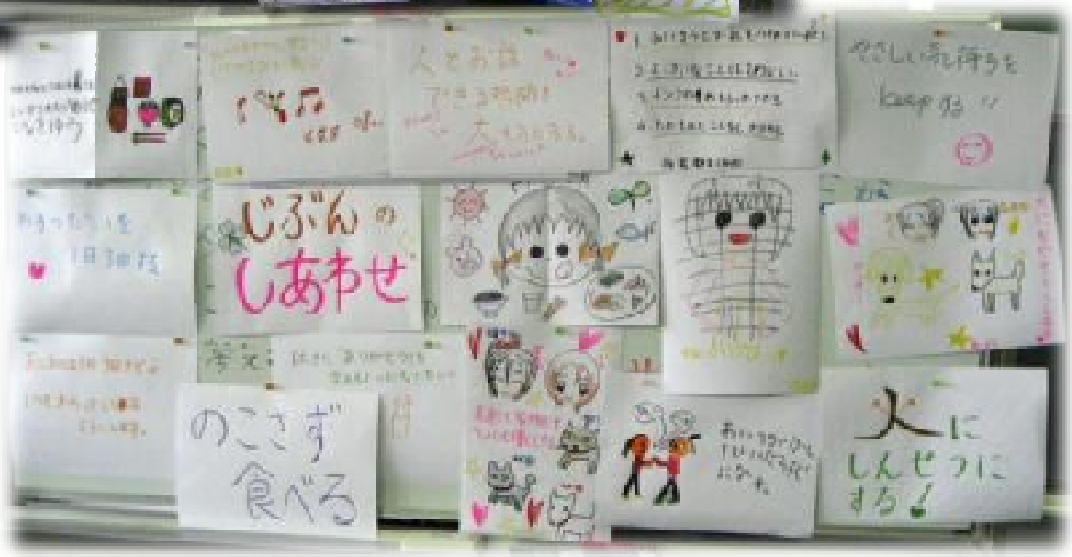


① きゃぁ、大きな声を出さないで

② エルサルバドルはどこにある？

②『サッカー戦争』を
紙芝居で説明

③ しあわせが
いっぱい



④ 平和をつくる
レシピです

子ども(親子)対象の国際理解講座 ～環境～

地球上から生き物がいなくなっちゃう！？

対象
小学生低学年親子

時間
90分

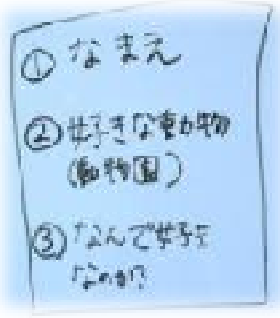
ねらい
生物多様性がなぜ大切なのか、また生物を守ることの大切さを考えるきっかけにする。

準備するもの
マジック　模造紙　A4用紙
動物一言カード ニュージーランドの写真

使用する教材
ニュージーランド パナマ

進め方

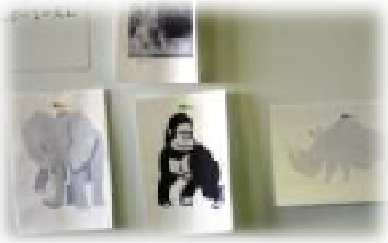
時間(分)	アクティビティ	ねらい	進め方	使用する教材
5	グループ分け		くじでグループ分け	
15	アイスブレーキング	打ち解ける。 動物に関心を持つ。	1. 自己紹介「名前」「自分の好きな動物」「その動物の好きなところ」（写真①） 2. 動物一言クイズ（写真②）	
15	お気に入りの写真を探そう♪	自然の美しさに関心を持つ。	1 ニュージーランドの写真の中からお気に入りを選び、タイトルをつける（写真③） 2 選んだ写真の中にはどんな生き物が住んでいそうか、書き出す。	ニュージーランド P.7～8
15	いきものクイズ	いろいろな種類の生物がいることを知る。	生き物についてのクイズに答える。（写真④）	パナマ P.29 ①～④
10	どうして生き物は減っているの?	「生物多様性」とは何なのか、地球的に注目されている課題について考える。	生き物が減っている理由だと思うことをブレーンストーミングで、模造紙に書き出してみる。（写真⑤）	パナマ P.29 ⑥
10	人間以外の生き物がいなくなってしまったらどうなっちゃう?		グループで模造紙に、派生図を書く。（写真⑥）	パナマ P.29 ⑦
15	生き物が減らないように、何をする?		各自で3カ条をつくる。（写真⑦） グループで発表。	パナマ P.29 ⑧
5	ふりかえり		感想を聞く。	



① 動物って何がいたっけ？？

② 動物一言クイズ

③ ニュージーランドってステキぃ～



④ 何問答えられるかな？

⑤ 何で減っちゃうんだろ～？？

⑦ 私にもできることがあるヨ

⑥ 人間以外の生物も大切なんだね

一般対象の国際理解講座　～人権～

「豊かさ」って何だろう？

対象
一般

時間
90分

ねらい
豊かさの多様さに気づき、人権を尊重しあえる社会づくりのきっかけにする!

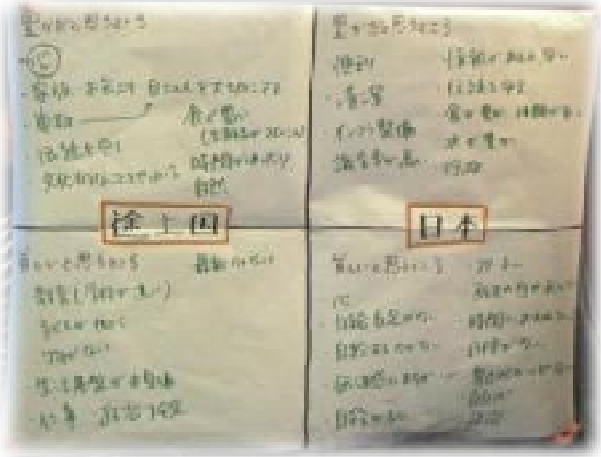
準備するもの
マジック　模造紙　A4用紙　付箋
途上国の資料（「豊かさについて考えようその1」）

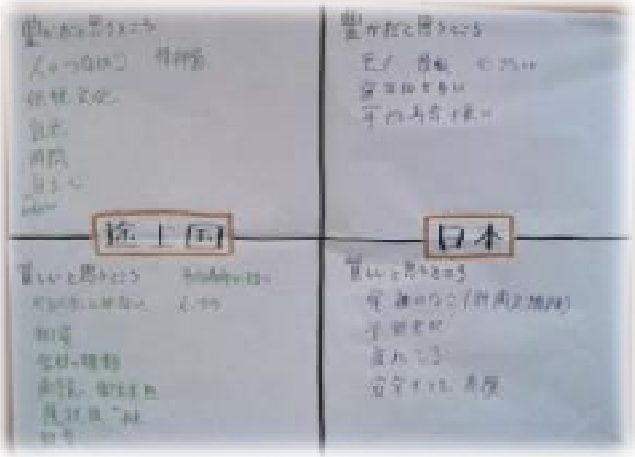
使用する教材
カンボジア キルギス セネガル チャド パキスタン フィジー 南アフリカ

進め方

時間（分）	アクティビティ	ねらい	進め方	使用する教材
10	アイスブレーキング		「実はわたし〇〇なんです」というお題で、グループ内で自己紹介。（すでにお互いによく知っている参加者同士だったので）	
20	豊かさについて考えよう その1	豊かさの多様性を知る。	1. グループの人数の途上国の資料を配り、各自1枚ずつ取って読む。（写真①） 2. グループ内で、自分の読んだ資料の内容について紹介する。 3. 模造紙を4つに区切り、途上国・日本の「豊かなところ」と「貧しいところ」を書き出す。 4. 作業を通して気づいたことを、全員で共有する。（写真②）	カンボジア P.28 キルギス P.10・12 セネガル P.16 チャドP.14 パキスタン P.22 フィジーP.12
40	豊かさについて考えよう その2	豊かさは多様でも、違ってはいけないものがある! それを知る。	1. 日本で私が生きていくために必要なものを各自付箋1枚に1項目でできるだけたくさん書き出す。（写真③） 2. カード式分類法でグループで分類する。 <休憩> 3. グループで挙げたものの中から、「誰もが十分に生きることのできる理想の国」を新しく創るために必要だと思うものを5つ選ぶ。 4. 何が残ったか、どんな話し合いがされたかなどを全体で共有する。 5. BHNについての説明を聞く。	カンボジア P.32
20	アパルトヘイトからわたしと世界を考える	人権侵害の事例を知るとともに、改善するためにできることを考える。	1. アパルトヘイトについての説明を聞く。 2. 南アフリカP.28「世界人権宣言チェック」をチェックする。 3. 日本の△や×を考えながら、人権が侵害されている具体的な事例を共有する。 4. それを改善するために、「みんなでできること」をグループで話し合い、発表する。（写真④）	南アフリカ P.27 ③④⑤⑥

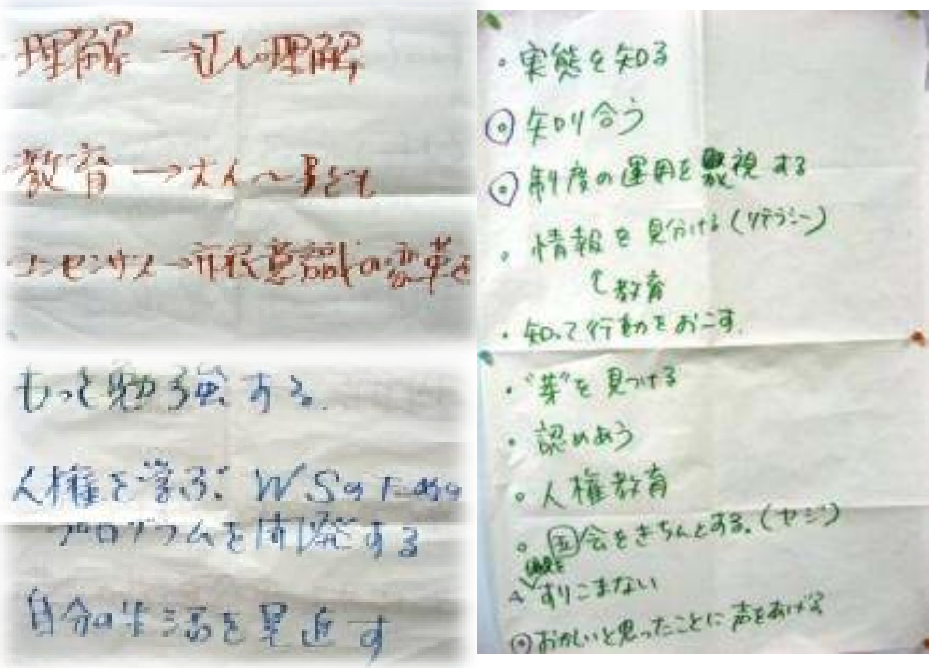
① 資料を真剣に読む参加者





② 対比表をつくることで気づけることがある

③ カード式分類法



④ もっと勉強する♪

一般対象の国際理解講座　～多文化共生～

多文化共生社会ってどんな社会？

対象
一般

時間
90分

ねらい
日本や世界の現状を知り、多文化共生社会を実現するためには何が大切か考える

準備するもの
マジック　模造紙　A4用紙　付箋

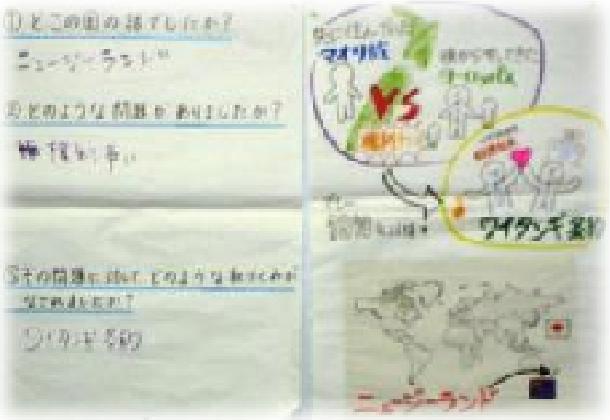
使用する教材
ポルトガル　イタリア　ボスニア　ニュージーランド

進め方

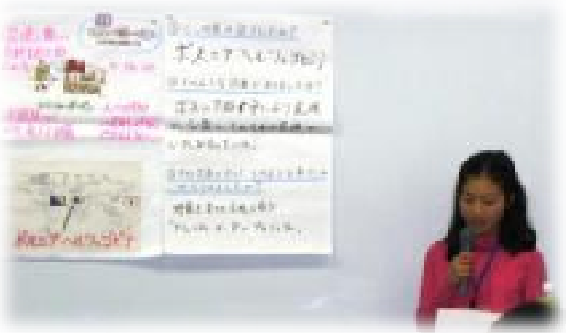
時間(分)	アクティビティ	ねらい	進め方	使用する教材
10	アイスブレーキング	参加者同士知り合う。	グループごとに自己紹介	
5	常識? 非常識?	日本人の当たり前は、世界では必ずしもあたりまえでないことを知る。	全員で、挙手により質問に答え、どこの国のことかを考える。（写真①）	ポルトガル P.17 ①
5	日本あれこれ	同じ国同士の人でも多様であることを知る。	各自質問に答え、グループで話し合う。	イタリア P.25 ②
5	想像してみよう	自分では普通だと思っていることを否定されたら、どんな気持ちがするか話し合う。	グループで話し合い、全員で共有する。（写真②）	イタリア P.25 ②
20	世界の取り組み	いろいろな国で、多文化共生の取り組みが行われている事例を知る。	グループごとに異なる事例を読み、あらかじめ質問を書きこんだ模造紙にグループの答えを書き込む。 全員で共有する。（写真③）	ボスニア P.18～19 ニュージーランド P.23
15	日本の現状	多文化共生社会を実現しなければいけない、日本の現状を知る。	外国人登録者数、阪神・淡路大震災の事例、外国人介護士などの事例を紹介する。（写真④）	
15	よりよい多文化共生社会のために	多文化共生社会とはどんな社会なのか、実現するために大切なことは何なのかを考える。	多文化共生社会にあってはいけないものを付箋に書き出し、グループで模造紙に分類する。（写真⑤） グループで「多文化共生社会とは〇〇な社会」「それを実現するために必要な3カ条」を作成する。（写真⑥）	2009年教材 第4章
15	ふりかえり			

①「鼻をかむ時ティッシュを使う人～？」

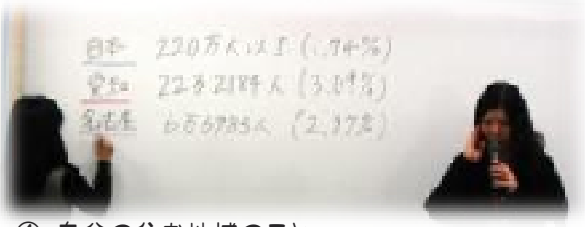
② 日本人同士でもいろいろです。



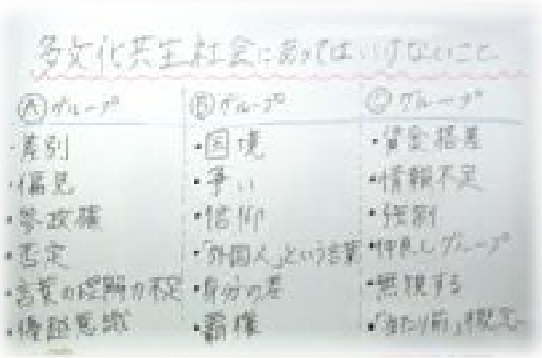
⑤ グループで考えたアイデアを
みんなで共有します。

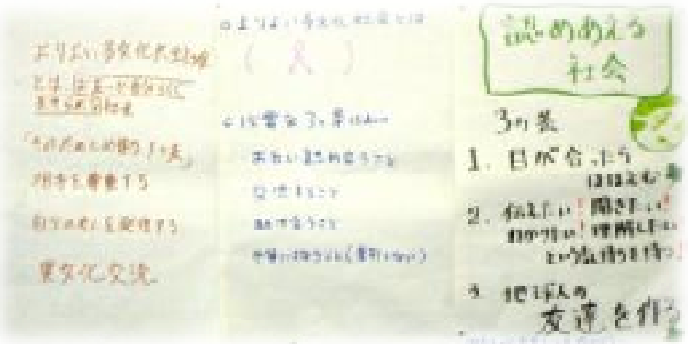


③ グループごとに読んだ事例を他のグループ
に紹介します。



④ 自分の住む地域のこと、
どのくらい知っているでしょうか？





⑥ よりよい多文化共生社会を実現するために

よりよいファシリテーターになるための10カ条

team：1986＋－

①時間を守り、流れがスムーズ
②どんな意見も聞き、尊重できる。
③臨機応変に対応♡
④一緒に学び楽しむ姿勢
⑤自分の言葉をもつ
⑥参加の雰囲気をつくる
⑦To be an actress & actor
⑧参加者を信じることができる。
⑨名前を呼ぶ、個人を大切に。
⑩元気で明るく大きな声で

よりよいファシリテーターのための10ヶ条

①SMILE　TEAM 美々24
②斬新な発想力
③軸をぶらさない心
④フレンドリーなオーラ
⑤話すよりも聞く力を持つ
⑥臨機応変!! 何があるか分からない♡
⑦すべての流れを把握していること
⑧適切な話し方・言葉選び
⑨良い雰囲気作り
⑩肯定する

よりよいファシリテーターのための10ヶ条

1. メリハリをつける！ 楽しく、時に真剣に（伊沢さんのように）
2. 参加者に問いかけて、ひき出し、ひろう！
3. 参加者とともに学ぶ！
4. OPEN HEART♡
5. 自信を持って、ハキハキ話す！
6. 自己満足で話を進めず、状況に応じて話のふくらみを左右する！
7. 日々、情報をキャッチして頭をやわらかくする！
8. その場だけでなく、次につなげる！
9. 参加者、仲間の動きに目を向けて、場の空気をよむ！
10. 流れをつくる！（ひそかに）

チーム マレーシア

かんぴい　まーりー♡　わっちゃ

・参加者に最終的に前向きな気持ちにさせる　肯（肯定的）
・空気が読め、計作るムードメーカー
・謳性、アドリブ力のバランスが絶妙
・話や、その人らしさを引き出すことができる。
・多様な考えを提供できる。
・表情が豊かな人
・伝えたいポイント、ねらいをしっかり伝えられる
・参加者の意見を活かすコメントができる
・その内容について理解している
・参加者主体 十楽しめるプログラムが作れる。

チーム H☆sHIGA☆KA
HIRAYE RII KASUMI YUKIHO

キーワード一覧

	キーワード	掲載されている教材
ア	アパルトヘイト	南ｱﾌﾘｶ27
	ｴｺﾛｼﾞｶﾙﾌｯﾄﾌﾟﾘﾝﾄ	ﾄﾞﾐﾆｶ22 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ27
	HIV感染率	南ｱﾌﾘｶ22
	NGO	ﾁｬﾄﾞ18 ﾓﾛｯｺ30
カ	カースト制度	ﾊﾟｷｽﾀﾝ30
	火山	ｴﾙｻﾙﾊﾞﾄﾞﾙ17
	カシミール紛争	ﾊﾟｷｽﾀﾝ32
	環境権・環境法	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ28
	京都議定書	ｵﾗﾝﾀﾞ31 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ29
	キンバリープロセス	ﾍﾞﾙｷﾞｰ10
	グローバルイシュー	2009年教材第4章
	幸福度指数	ﾄﾞﾐﾆｶ22 ゛
	高齢人口比率	韓国30
	国内総生産	南ｱﾌﾘｶ22
	5歳未満児死亡率	ﾍﾞﾅﾝ22
	国境	ｱｾﾞﾙﾊﾞｲｼﾞｬﾝ24 ｷﾙｷﾞｽ22
	子どもの権利条約	ﾎﾞﾘﾋﾞｱ23 ﾓﾝｺﾞﾙ24
	ゴミ問題	ｷﾘﾊﾞｽ25
サ	砂漠化	ｵﾗﾝﾀﾞ31 ﾁｬﾄﾞ17･23 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ29 ﾓﾝｺﾞﾙ20
	サヘル	ﾁｬﾄﾞ17
	ｼﾞｪﾝﾀﾞｰｷﾞｬｯﾌﾟ指数	ｴｼﾞﾌﾟﾄ24
	識字率	ﾍﾞﾅﾝ22
	持続可能な開発	ｳｽﾞﾍﾞｷｽﾀﾝ31
	児童労働	ﾊﾟｷｽﾀﾝ26・29 ﾎﾞﾘﾋﾞｱ24
	植民地	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ33
	食糧自給率	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ17･19
	地雷	ｶﾝﾎﾞｼﾞｱ27
	森林伐採	ｶﾞﾎﾞﾝ26
	ストックホルム宣言	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ28
	ストリートチルドレン	ﾓﾝｺﾞﾙ21
	頭脳流出	ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ32
	世界人権宣言	南ｱﾌﾘｶ28
	石油	ｱｾﾞﾙﾊﾞｲｼﾞｬﾝ22

	キーワード	掲載されている教材
	絶滅危惧種	ｶﾞﾎﾞﾝ25 ｹﾆｱ25 南ｱﾌﾘｶ25
	生物多様性	ﾊﾟﾅﾏ30
	先住民族	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ23
タ	多文化共生社会	韓国30 ﾌﾗﾝｽ32 2009年教材第4章
	地球温暖化	ﾌｨｼﾞｰ21 ｷﾘﾊﾞｽ24
	地球環境問題	ｵﾗﾝﾀﾞ31 ﾎﾟﾙﾄｶﾞﾙ27
	奴隷貿易	ｾﾈｶﾞﾙ27 ﾍﾞﾅﾝ19
	動物との共生	ｹﾆｱ25
ナ	難民	ﾁｬﾄﾞ25
	日本語教育	ﾍﾞﾅﾝ15
	人間開発指数	ｶﾒﾙｰﾝ28 ｾﾈｶﾞﾙ31
	人間貧困指数	南ｱﾌﾘｶ22
	ノーベル賞	ｱｾﾞﾙﾊﾞｲｼﾞｬﾝ15 ｶﾞﾎﾞﾝ27
ハ	バイオ燃料	ｶﾞﾎﾞﾝ27
	BHN	ｶﾒﾙｰﾝ28 ｾﾈｶﾞﾙ31 ﾄﾞﾐﾆｶ22
	フェアトレード	ﾎﾞﾘﾋﾞｱ25
	不発弾	ﾗｵｽ31
	ﾌﾞﾗｯﾄﾞﾀﾞｲﾔﾓﾝﾄﾞ	ﾍﾞﾙｷﾞｰ10
	平均寿命	南ｱﾌﾘｶ22
	平均余命	ﾍﾞﾅﾝ22
	平和指数	ﾆｭｰｼﾞｰﾗﾝﾄﾞ22
	平和な社会	ﾎﾞｽﾆｱ22
	ヘジャブ	ｲﾗﾝ12⑤･27
マ	マイクロクレジット	ﾓﾛｯｺ30
	水問題	ﾁｬﾄﾞ21
	緑の革命	ｾﾈｶﾞﾙ30
	ﾓｯﾀｲﾅｲｷｬﾝﾍﾟｰﾝ	ｹﾆｱ21
ラ	レアメタル	南ｱﾌﾘｶ20
	レッドデータブック	ﾊﾟﾅﾏ30

教材目次一覧

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう! こんな課題
アゼルバイジャン共和国	◆アゼルバイジャンってどんな国? ◆アゼルバイジャンにまつわるウソ?ホント? ◆不思議発見!これ、なぁに? ◆クイズタ～イムショック カスピ海! ノーベル賞誕生秘話	◆夢の国「日本」? バクーの街角	◆もしも石油がなくなったら ◆国って何だろう? 国境って何だろう? 未承認国家ナゴルノ・カラバフと ナヒチェヴァン自治共和国 旧ソビエト社会主義共和国連邦から独立した国
イタリア共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆Meraviglioso!!スゴイぞイタリア! ◆Mangiare!!イタリアを食べよう! ◆Viaggiare!!イタリアを旅しよう! ◆Vivere!!イタリア人になってみよう! イタリアの教育制度とイタリアの行事	◆探してみよう、日本の中のイタリア ◆比べてみよう、二つの国 街歩きフォトアルバム	◆違いについて考えよう。その1 ◆違いについて考えよう。その2 ◆想像しよう、創造しよう、未来 イタリア人ってどんな人? イタリア人の国民性
イランイスラム共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆ようこそ〇※★△の国 イランへ!! ◆イランにまつわるウソ?ホント? ◆イランにまつわるウソ?ホント?その2 ◆おいしい!イランの家庭料理 ◆中東のこと、イスラームのこと、ちゃんと学ぼう!	◆比べてみよう! イランと日本のお正月 フォトギャラリー	◆世界のエネルギーを考えよう! かっこいい! イランの女性 ～ヘジャブいろいろ～
ウズベキスタン共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆数字で知ろう! ウズベキスタン ◆ウズベキスタンのウソ?ホント? ◆ウズベキスタン料理を知ろう! ～アジアの中心でお腹を満たす～ ◆ウズベキスタンに住んでる人ってどんな人? ◆ウズベキスタンの言葉と文字 ～キリル文字って知ってる?～ バザールの様子	◆ウズベキスタンと日本のつながりウソ?ホント? 名古屋大学日本法教育センター ウズベキスタンの法整備を支援	◆写真は語る!～ウズベキスタンのある場所の写真から～ ◆アラル海の悲劇～持続可能な開発について考える～ ウズベキスタンの英雄 アミール・ティムール ウズベキスタンのおしゃれ
エジプト・アラブ共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆エジプトにまつわるウソ?ホント? ◆エジプトの学校ウソ?ホント? ◆エジプトと日本の歴史年表を作ろう! エジプト料理 ＆ 食事の風景	◆エジプトと日本 つながりクイズ ◆知ってビックリ アラビア語～日本語との意外な共通点～ JICA青年海外協力隊員の活動報告	◆ジェンダーについて考えよう フォトギャラリー

参考資料　ちょっとブレイク　フォトギャラリー

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう! こんな課題
エルサルバドル共和国	◆エルサルバドルのウソ?ホント? ◆エルサルバドルお買い物ゲーム ◆作っちゃおう! エルサルバドルの伝統料理	◆エルサルバドルと日本の関係…ウソ?ホント? ◆マヤブルー復活! ◆地球は生きている! ～火山と地震の国～ フォトギャラリー	◆ごみはごみ箱に捨てましょう!! ◆サッカー戦争…平和な社会をつくるには? エルサルバドル内戦 エルサルバドルに残るマヤ時代の遺跡
オランダ王国	◆クイズ100人に聞きました! ◆オランダ人はどんなものをたべてるの? ◆オランダの学校…ウソ?ホント? ◆環境にやさしい乗り物!自転車の国オランダ ◆オランダにまつわるウソ?ホント? オランダの料理に挑戦! オランダのことばを覚えよう!	◆オランダと日本 交流の歴史 ◆日本語になったオランダ語 ◆オランダを知ろう! フォトギャラリー	◆多様な人種が集まるオランダ ◆このままではオランダが沈んじゃう!? 地球環境問題
ガボン共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆ガボンなんでもウソ?ホント? ◆ガボンの学校ウソ?ホント? ◆アフリカの食卓 ～キャッサバは地球を救う?～ アフリカの国旗	◆ガボンと日本のへぇ～ホント? ◆あなたはまちの宣伝部長! みんなにまちをPR! ガボンの歴史	◆アフリカが抱える課題 ◆ゴリラを救おう!プロジェクト ノーベル賞 バイオ燃料
カメルーン共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆「アフリカの縮図」カメルーン ◆カメルーンにまつわるウソ?ホント? ◆カメルーンの学校にまつわるウソ?ホント? フォトギャラリー	◆カカオと旅しよう! ～おいしいチョコレートを食べるまで～ ◆あなたはまちの宣伝部長! みんなにまちをPR! フォトギャラリー	◆豊かさについて考えよう! フォトギャラリー
カンボジア王国	◆クイズ100人に聞きました! ◆カンボジア基礎知識入門 ◆二度と繰り返してはダメ! カンボジアの歴史にタイムスリップ ◆やっぱりアンコール・ワット!? ◆カンボジアの日常生活をのぞこう! えっ?それって、ウソ?ホント? プチ・フォトミュージアム	◆カンボジアと日本、似てるゾ!?この「民話」っ! この「ことわざ」っ! ◆カンボジアと日本 へぇ～これって、 ウソ?ホント? 万博こぼれ話・ カンボジア料理& アンコールクッキーの店	◆内戦の負の遺産 でも魅力いっぱいカンボジア ◆カンボジアのためにできること ～日本が行ってきた軌跡をたどって～ ◆『幸せ』って何だろう? プチ・フォトミュージアム
キリバス共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆島国キリバス ～太平洋の14の島国をひとかじり! ◆キリバスを知り、自分（日本）を物語ろう! ◆もっと知ろう! キリバス トリビア クイズ キリバスのエトセトラ	◆キリバスト日本のつながり物語 ◆まだまだある! キリバスと日本のつながり ◆キリバス・ルルボア小学校の児童から届いた絵手紙	◆他人事じゃない地球温暖化 ～キリバスの大問題 ◆クリーンアップ! クリスマス島!

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう!! こんな課題
キルギス共和国	◆キルギスってどこだっけ? ～山々に囲まれた美しい国～ ◆キルギスに住む人々はどんな顔? ◆遊牧民のくらし キルギス料理 ～遊牧民の豪快な料理です～	◆ウソ?ホント? 一緒に考えてみましょう ◆シルクロード浪漫紀行 日本とキルギス… 抑留兵の話	◆中央アジア各国を知ろう! ◆国境線の成り立ちを知ろう! ガス戦争欧州"流れ弾" ～供給多角化模索 鍵握る中央アジア～ ラグマンを作ろう! ～キルギス風トマトスープ味のうどん～
ケニア共和国	◆ケニアのこと知ってる? ◆写真で見るケニア ◆ケニアにまつわるウソ?ホント? ◆「野生の王国」ケニア フォトギャラリー	◆日本とケニアの交流にまつわるウソ?ホント? ◆これってモッタイナイ? 日本古来の精神が地球環境を救う! 世界に広めよう"モッタイナイ"の輪! フォトギャラリー	◆野生動物と暮らす ◆直線で引かれた国境 ◆チョウが森を救う?
サウジアラビア王国	◆サウジアラビアクイズ ウソ?ホント? ◆イスラム教について知ろう ◆サウジアラビアの学校へ行ってみよう! ◆サウジアラビアの生活をのぞいてみよう! サウジアラビアのことばであいさつしてみよう!	◆サウジアラビアと日本つながりクイズ ◆日本語の中のアラビア語 フォトギャラリー	◆こうなったらいいな! みんなのまち フォトギャラリー
セネガル共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆テランガの国セネガル!! ◆学校へ行こう! ◆モクタールくんの一日 ◆主食はお米です!? ◆セネガルってどんなとこ? フォトギャラリー	◆日本のイメージは"ニャハナ"!! ◆高層ビルと『わらの家』…どっちがセネガル? ◆セネガルの活動報告 =頑張るおばちゃんたち=	◆ピーナッツバターは調味料!? ◆豊かさについて考えよう! フォトギャラリー
大韓民国	◆クイズ100人に聞きました! ◆韓国の魅力『ハンスタイル』 ◆ソウルだけじゃない さまざまな韓国 ◆韓国にまつわるウソ?ホント? ◆おばあちゃんの味!?キ・ム・チ ◆みんなのトッケビ♪ テコンドーってどんなスポーツ?・やっぱり韓流?	◆大切にしていること・守りたいこと ◆韓国語と日本語 カナダラ表／反切表	◆お年寄りを大切にする社会 ハングル カナ対応表

参考資料　ちょっとブレイク　フォトギャラリー

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう!! こんな課題
大リビア・アラブ社会主義人民ジャマーヒリーヤ国	◆リビアってどんな国? ◆リビアにまつわるウソ?ホント? ◆リビア歴史と世界遺産 …浪漫の旅 トリポリの街角	◆リビアと日本を比べてみたら …これってウソ?ホント? 砂漠は生きている	◆生まれ変わったリビア…そして新たな課題 素顔のリビアを探して リビアの人々
チャド共和国	◆チャドってどんな国なんだろう? ◆チャドにまつわるウソ?ホント? ◆毎日の生活～チャドの場合 ◆チャドの学校! 勉強だぁい好きこどもたち フォトギャラリー	◆「木を育てることは人を育てること」 ～「緑のサヘル」活動報告～ フォトギャラリー	◆1日にどれだけ水を使っていますか? ◆砂漠化に苦しむチャド 難民キャンプ
ドミニカ共和国	◆カリブ海&ドミニカ料理にまつわるウソ?ホント? ◆踊りだぁ～い好きドミニカ人♪ ◆「ジュラシックパーク」それはドミニカから始まった? ドミニカ共和国ってこんな国・料理からひもとくドミニカヒストリー	◆ドミニカ共和国と日本野球くらべ～! ◆「黄金の国ジパング」と「天国にも勝る島」 コロンブスの航海路	◆1つの島に2つの国 ◆もしも電気がなかったら～ドミニカ人的人生の楽しみ方～ ◆ドミニカに渡った日本人 フォトギャラリー
ニュージーランド	◆クイズ100人に聞きました ◆「地球の箱庭」ニュージーランド ◆多様性に満ちた国ニュージーランド! ～自然、景観、文化、スポーツ、人々、動植物～ ◆これがNZ!これもNZ! NZトリビア15選! ニュージーランドの食べ物	◆比べてみよう!日本の教育・NZの教育! ◆日本の食卓から世界が見える!?～世界一の食料輸入国日本!～ 日本の自給率 世界の自給率 ～食料の6割を輸入に頼る食糧輸入大国日本!～	◆非核国家NZの「ヒロシマ・デー」～平和指数世界2位の国NZ～ アオテアロアの最初の移住者「マオリ」と一国二文化の国ニュージーランド
パキスタン・イスラム共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆パキスタンの料理は甘い?からい? ◆知ってるようで知らないパキスタン ◆知ってるようで知らないパキスタンパート2 パキスタンの乗り物いろいろ 世界の高い山	◆宮崎駿の映画の舞台はパキスタン? ◆パキスタンから見た日本、日本から見たパキスタン ◆パキスタンと日本、誇れるところ、頑張りたいところ	◆学校に行きたい! ◆学校に行きたい! パート2 ◆平和について考えよう! フォトギャラリー
パナマ共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆どれがパナマ? ◆「パナマップ」をつくろう! ◆パナマのいろいろ…ウソ?ホント? ◆運河にまつわるエトセトラ	◆パナマも日本も主食はお米! ◆パナマと日本ウソ?ホント? 何だ、これ?編	◆地球上から生き物がいなくなっちゃう!? きゃー! かっわいい!編

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう! こんな課題
フィジー諸島共和国	◆フィジーのこと、どれだけ知ってる? ◆フィジーにまつわるウソ?ホント? ◆自然の恵みを受ける国フィジー ◆フィジーの学校へ行こう! ◆のぞいてみよう、フィジー フィジーの笑顔、発見! 心優しき人たち	◆フィジーと日本は 似ている?クイズ フィジーの食事風景を のぞいてみましょう!	◆地球温暖化を阻止せよ! フィジーあれこれ
フランス共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆パリとセーヌ河の物語 ◆「フランスを旅しちゃおうマップ」を作ろう! ◆フランスの学校…ウソ?ホント? なんだ、これ?マルシェで見つけたヘンテコな野菜	◆日本とフランスの交流にまつわるウソ?ホント? ◆大人気! 日本のMANGA	◆食べ物だって無限じゃない! ◆「ゆっくり」を楽しもう! ～自転車で自分たちの街再発見～ ◆多様な人種が集まる国フランス
ベナン共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆ベナンってどんな国? ベナンを旅しよう! ◆ベナンにまつわるウソ?ホント? ◆ちょっぴり刺激的なベナン料理 マイ・ボンバで気分はベナン人♪	◆外国語を学ぶということ…ベナンの日本語教育 フォトギャラリー	◆悲しい歴史『奴隷貿易』がアフリカに残したもの ◆平和の国ベナン、でも… ベナンの子どもたち
ベルギー王国	◆クイズ100人に聞きました! ◆こだわりの国ベルギー! ◆ベルギーを旅しちゃおう! もっと知ろう! ベルギー! ◆ビストロ・ベルギーへようこそ! ボナペティ～リエージュワッフル～	◆ベルギーにまつわる ウソ・ホント! ◆王侯貴族の栄華 ワーテルローと古戦場のあるまち長久手町	◆ベルギーを知れば、 ヨーロッパがわかる!? フォトギャラリー ボナペティ! ～ムール貝のワイン蒸し～
ボスニア・ヘルツェゴビナ	◆クイズ100人に聞きました! ◆ハートの形の国 ボスニア・ヘルツェゴビナ ◆ボスニアにまつわるウソ?ホント? ◆ボスニア料理ってどんな料理?	◆ボスニアの平和を応援する日本の取り組み	◆気がついたら戦争が始まっていた ボスニア紛争～どうして起こってしまったのだろう?～ 2つの橋の物語
ボリビア共和国	◆どれがボリビア?フォトギャラリー ◆ボリビアなんでもウソ・ホントクイズ ◆「食」にまつわるエトセトラ♪ ボリビアの「魔女市場」	◆ボリビアと日本 似ているところ・違うところ ◆ボリビアと日本のつながり その1 ～ボリビアに渡った最初の日本人移民～ ◆ボリビアと日本のつながり その2 ～コロニア・オキナワ～ コロニア・オキナワ物語 ボリビアの歴史	◆子どもの権利と児童労働 ◆フェアトレードって知っていますか? ボリビアのカカオ生産者「エルセイボ」の取り組み

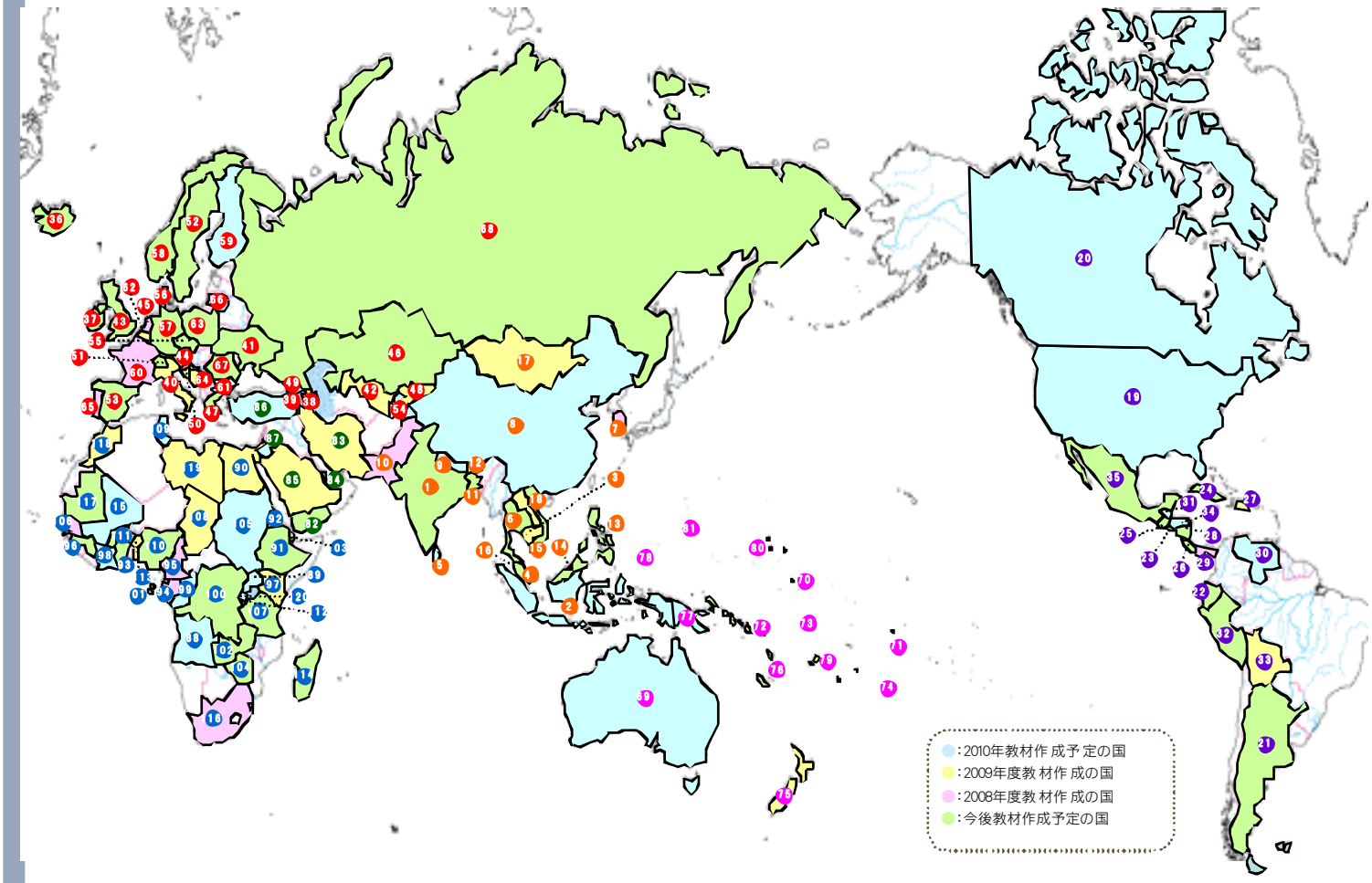
参考資料　ちょっとブレイク　フォトギャラリー

国 名	第1章 〇〇ってどんな国?	第2章 へぇ～! 〇〇と日本	第3章 一緒に考えよう! こんな課題
ポルトガル共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆ポルトガル料理ってどんなの? ◆コルク生産世界一 ◆ヌノー君のある1日 ポルトガル料理を作ってみよう!	◆ところ変われば 『私の常識・あなたの非常識』 ◆日本語になったポルトガル語 ◆同じ? 違う? 意外? ◆あなたはまちの宣伝部長! みんなにまちをPR! バルセロスの雄鶏 (ポルトガルのマスコット)	◆大丈夫!?みんなの地球 ◆植民地政策を超えて 共生へ
南アフリカ共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆クイズ100人に聞きました! ～南アフリカ編～ ◆南アフリカのウソ?ホント? ◆写真から見る南アフリカ ◆South Africa Hair Style!!	◆南アフリカと日本、 つながってる?? ◆データマップで見るアフリカの中の南アフリカ JICA青年海外協力隊員の活動報告	◆南アフリカのペンギンを救おう! ◆アパルトヘイトからわたしと世界を考える フォトギャラリー
モロッコ王国	◆映画のまちといわれるモロッコ モロッコってどんなイメージ? ◆モロッコ人の9割がイスラーム! イスラム教の人々の守りごと ◆モロッコ料理の定番は? ◆学校へ行こう! ◆カリルくんの一日 Let's トライ! ハリーラを作ってみよう!!	◆モロッコのことわざ ◆モロッコと日本とのつながりクイズ モロッコの子どもたち	◆たこ焼きピ～ンチ!! ～たこ焼きとモロッコの意外な関係～ ◆モロッコ女性が貧困を救う!? イスラム建築とモロッコに欠かせない動物たち
モンゴル国	◆モンゴルあれこれクイズ ◆体験! モンゴル遊牧ライフ♪ モンゴルじゃんけん、 じゃんけんぽん	◆モンゴルと日本つながり 世界地図 ◆ぼくんちあたしんちカレンダーを作ろう! これなーんだ?編	◆ふわふわカシミアと大草原 ◆しあわせ家族について考えよう もこもこモンゴル編
ラオス人民民主共和国	◆クイズ100人に聞きました! ◆さまざまなラオス ◆ラオスの民族衣装と文様 ◆ラオスの学校! ウソ? ホント? ◆ラオスの人が大切にしていること・守りたいもの ラオスの民族衣装ギャラリー	◆ラオスと日本のつながり ウソ? ホント? ◆ラオスと日本のお祭り ◆ラオスも日本もお米を食べます ◆ある!? ない!? フォトギャラリー	◆プーさんのある一日 ◆ラオスに残る不発弾 ～平和って何だろう?～ フォトギャラリー

★第4章

2008年	◆もしも外国とのつながりがなくなったら ◆未来の地球
2009年	◆『多文化共生社会』ってどんな社会? ◆号外! 号外! 20年後の新聞です

48 『わたしたちの地球と未来』マップ（愛知万博公式参加出展国と一市町村一国フレンドシップパートナー市町村です）



アジア

1 インド〔刈谷市〕
2 インドネシア共和国〔東郷町〕
3 カンボジア王国〔幸田町〕
4 シンガポール共和国〔美浜町〕
5 スリランカ民主社会主義共和国〔豊田市（旧　旭町）〕
6 タイ王国〔稲沢市（旧　平和町）〕
7 大韓民国〔豊田市・北名古屋市（旧　師勝町）〕
8 中華人民共和国〔豊橋市〕
9 ネパール王国〔豊田市（旧　稲武町）〕
10 パキスタン・イスラム共和国〔津島市〕
11 バングラデシュ人民共和国〔日進市〕
12 ブータン王国〔半田市〕
13 フィリピン共和国〔豊川市〕
14 ブルネイ・ダルサラーム国〔高浜市〕
15 ベトナム社会主義共和国〔美和町〕
16 マレーシア〔常滑市〕
17 モンゴル国〔蟹江町〕
18 ラオス人民民主共和国〔田原市〕

北米・中南米

19 アメリカ合衆国〔豊橋市・豊田市・安城市〕
20 カナダ〔春日井市・刈谷市〕
21 アルゼンチン共和国〔岡崎市〕
22 エクアドル共和国〔小牧市〕
23 エルサルバドル共和国〔北名古屋市（旧　西春町）〕
24 キューバ共和国〔岩倉市〕
25 グアテマラ共和国〔半田市〕
26 コスタリカ共和国〔設楽町（旧　津具村）〕
27 ドミニカ共和国〔田原市（旧　渥美町）〕
28 ニカラグア共和国〔大口町〕
29 パナマ共和国〔愛西市（旧　立田村）〕
30 ベネズエラ・ボリバル共和国〔豊橋市〕
31 ベリーズ〔みよし市（旧三好町）〕
32 ペルー共和国〔豊川市〕
33 ボリビア共和国〔東栄町〕
34 ホンジュラス共和国〔豊橋市〕
35 メキシコ合衆国〔豊田市〕

欧州（含NIS諸国）

36 アイスランド共和国〔知立市〕
37 アイルランド〔清須市（旧　西枇杷島町）〕
38 アゼルバイジャン共和国〔七宝町〕
39 アルメニア共和国〔新城市（旧　作手村）〕
40 イタリア共和国〔一宮市（旧　尾西市）〕
41 ウクライナ〔幡豆町〕
42 ウズベキスタン共和国〔一宮市（旧　木曽川町）〕
43 英国（ｸﾞﾚｰﾄﾌﾞﾘﾃﾝ及び北ｱｲﾙﾗﾝﾄﾞ連合王国）〔豊田市〕
44 オーストリア共和国〔豊川市（旧　小坂井町）〕
45 オランダ王国〔弥富市〕
46 カザフスタン共和国〔豊田市（旧　下山村）〕
47 ギリシャ共和国〔稲沢市〕
48 キルギス共和国〔豊根村（旧　富山村）〕
49 グルジア〔春日井市〕
50 クロアチア共和国〔碧南市〕
51 スイス連邦〔新城市〕
52 スウェーデン王国〔岡崎市〕
53 スペイン王国〔清須市（旧　清洲町）〕
54 タジキスタン共和国〔北名古屋市（旧　師勝町）〕
55 チェコ共和国〔豊川市（旧　音羽町）〕
56 デンマーク王国〔安城市〕
57 ドイツ連邦共和国〔豊橋市・犬山市〕
58 ノルウェー王国〔稲沢市（旧　祖父江町）〕
59 フィンランド共和国〔豊田市（旧　小原村）〕
60 フランス共和国〔瀬戸市・弥富市（旧　十四山村）〕
61 ブルガリア共和国〔豊明市〕
62 ベルギー王国〔長久手町〕
63 ポーランド共和国〔蒲郡市〕
64 ボスニア・ヘルツェゴビナ〔一宮市〕
65 ポルトガル共和国〔大治町〕
66 リトアニア共和国〔豊橋市〕
67 ルーマニア〔南知多町〕
68 ロシア〔豊田市（旧　足助町）〕

大洋州

69 オーストラリア連邦〔安城市・大府市〕
70 キリバス共和国〔一宮市・大府市〕
71 サモア独立国〔設楽町〕
72 ソロモン諸島〔阿久比町〕
73 ツバル〔知多市〕
74 トンガ王国〔尾張旭市〕
75 ニュージーランド〔一宮市（一宮市・旧尾西市）・西尾市〕
76 バヌアツ共和国〔蒲郡市〕
77 パプアニューギニア独立国〔豊田市（旧　藤岡町）〕
78 パラオ共和国〔日進市〕
79 フィジー諸島共和国〔武豊町〕
80 マーシャル諸島共和国〔飛島村〕
81 ミクロネシア連邦〔江南市〕

中東

82 イエメン共和国〔西尾市〕
83 イラン・イスラム共和国〔弥富市（旧　十四山村）〕
84 カタール国〔知多市〕
85 サウジアラビア王国〔豊根村〕
86 トルコ共和国〔東海市〕
87 ヨルダン・ハシュミット王国〔春日井市〕

アフリカ

88 アンゴラ共和国〔清須市（旧　春日町）〕
89 ウガンダ共和国〔清須市（旧　新川町）〕
90 エジプト・アラブ共和国〔吉良町〕
91 エチオピア連邦民主共和国〔新城市（旧　鳳来町）〕
92 エリトリア国〔犬山市〕
93 ガーナ共和国〔豊川市（旧　一宮町）〕
94 ガボン共和国〔愛西市（旧　八開村）〕
95 カメルーン共和国〔津島市〕
96 ギニア共和国〔稲沢市〕
97 ケニア共和国〔東浦町〕
98 コートジボワール共和国〔安城市〕
99 コンゴ共和国〔瀬戸市〕
00 コンゴ民主共和国〔大府市〕
01 サントメ・プリンシペ民主共和国〔東海市〕
02 ザンビア共和国〔岡崎市〕
03 ジブチ共和国〔刈谷市〕
04 ジンバブエ共和国〔豊川市（旧　御津町）〕
05 スーダン共和国〔春日井市〕
06 セネガル共和国〔扶桑町〕
07 タンザニア連合共和国〔小牧市〕
08 チャド共和国〔愛西市（旧　佐織町）〕
09 チュニジア共和国〔瀬戸市〕
10 ナイジェリア連邦共和国〔大口町〕
11 ブルキナファソ〔江南市〕
12 ブルンジ共和国〔一色町〕
13 ベナン共和国〔一宮市〕
14 マダガスカル共和国〔岡崎市（旧　額田町）〕
15 マリ共和国〔甚目寺町〕
16 南アフリカ共和国〔愛西市（旧　佐屋町）〕
17 モーリタニア・イスラム共和国〔西尾市〕
18 モロッコ王国〔豊山町〕
19 ﾘﾋﾞｱ・ｱﾗﾌﾞ社会主義人民ｼﾞｬﾏｰﾋﾘｰﾔ国〔田原市〕
20 ルワンダ共和国〔清須市（旧　西枇杷島町）〕

※ 国名の横の数字は教材を印刷した年。空欄に関しては今後作成予定。

アイスランド共和国		コスタリカ共和国		パプアニューギニア独立国	2010
アイルランド		コートジボワール共和国	2010	パラオ共和国	
アゼルバイジャン共和国	2009	コンゴ共和国	2010	バングラデシュ人民共和国	
アメリカ合衆国	2010	コンゴ民主共和国		ブータン王国	
アルゼンチン共和国		サウジアラビア王国	2009	フィジー諸島共和国	2009
アルメニア共和国		サモア独立国		フィリピン共和国	
アンゴラ共和国	2010	ｻﾝﾄﾒ･ﾌﾟﾘﾝｼﾍﾟ民主共和国	2010	フィンランド共和国	2010
イエメン共和国		ザンビア共和国		フランス共和国	2008
イタリア共和国	2009	ジブチ共和国		ブルガリア共和国	2010
イラン・イスラム共和国	2009	シンガポール共和国		ブルキナファソ	
インド		ジンバブエ共和国		ブルネイ・ダルサラーム国	
インドネシア共和国	2010	スイス連邦		ブルンジ共和国	
ウガンダ共和国	2010	スウェーデン王国		ベトナム社会主義共和国	
ウクライナ		スーダン共和国	2010	ベナン共和国	2009
ウズベキスタン共和国	2009	スペイン王国		ベネズエラ・ボリバル共和国	2010
英国		ｽﾘﾗﾝｶ民主社会主義共和国	2010	ベリーズ	2010
エクアドル共和国		セネガル共和国	2008	ペルー共和国	
エジプト・アラブ共和国	2009	ソロモン諸島		ベルギー王国	2009
エチオピア連邦民主共和国		タイ王国		ポーランド共和国	
エリトリア国		大韓民国	2008	ボスニア・ヘルツェゴビナ	2009
エルサルバドル共和国	2009	タジキスタン共和国	2010	ボリビア共和国	2009
オーストラリア連邦	2010	タンザニア連合共和国		ポルトガル共和国	2008
オーストリア共和国		チェコ共和国		ホンジュラス共和国	2010
オランダ王国	2008	チャド共和国	2009	マーシャル諸島共和国	2010
ガーナ共和国		中華人民共和国	2010	マダガスカル共和国	
カザフスタン共和国		チュニジア共和国	2010	マリ共和国	2010
カタール国		ツバル		マレーシア	
カナダ	2010	デンマーク王国	2010	ミクロネシア連邦	
ガボン共和国	2008	ドイツ連邦共和国		南アフリカ共和国	2008
カメルーン共和国	2008	ドミニカ共和国	2009	メキシコ合衆国	
カンボジア王国	2009	トルコ共和国	2010	モーリタニア・イスラム共和国	
キューバ共和国		トンガ王国		モロッコ王国	2009
ギニア共和国		ナイジェリア連邦共和国		モンゴル国	2009
ギリシャ共和国		ニカラグア共和国		ヨルダン・ハシェミット王国	2010
キリバス共和国	2009	ニュージーランド	2009	ラオス人民民主共和国	2009
キルギス共和国	2009	ネパール王国	2010	大ﾘﾋﾞｱ･ｱﾗﾌﾞ社会主義人民ｼﾞｬﾏｰﾋﾘｰﾔ国	2009
グアテマラ共和国		ノルウェー王国		リトアニア共和国	2010
グルジア	2010	パキスタン・イスラム共和国	2008	ルーマニア	
クロアチア共和国		パナマ共和国	2008	ルワンダ共和国	2010
ケニア共和国	2009	バヌアツ共和国		ロシア	

フレンドシップ教材活用プロジェクトチーム

池端利和子　磯部裕梨　伊藤千夏　梅本弥生　奥村香菜子　鬼澤佳澄
神崎萌絵　近藤 江　高橋佑実　高松恵津子　竹中梢子　鉄井宣人
土岐起穂　橋本花織　船橋明里　牧野梨衣　松山裕輝　水谷みゆき
山中麻奈未　和田晋矢　和智悠香里 【敬称略・50音順】

特定非営利活動法人 NIED・国際理解教育センター

財団法人 愛知県国際交流協会

本マニュアルは、フレンドシップ教材活用プロジェクトチームが、参加型ワークショップで考えた2008年・2009年作成教材活用のアイデアをもとに作成しました。

世界の国を知る　世界の国から学ぶ

わたしたちの地球と未来

活用マニュアル

2010年2月

発 行 ： 財団法人 愛知県国際交流協会
〒460-0001
名古屋市中区三の丸二丁目6番1号
あいち国際プラザ
TEL：052−961−8746 FAX：052−961−8045
E−mail： koryu@aia.pref.aichi.jp
URL: http://www2/aia.pref.aichi.jp

印 刷 ： 株式会社 コスモクリエイティブ

宝くじは
豊かさ築く
チカラ持ち。

宝くじは、広く社会に役立てられています。